

札幌市こども人形劇場こぐま座 令和3年度管理業務報告書

1 管理業務の実施状況

項目	実施状況		評価・反省
1. 管理の基準			
(1)開館時間及び休館日	1 開館時間 2 休館日 3 開館日数 4 休館日数	午前8時45分から午後10時まで。ただし、日曜日は午前8時45分から午後5時まで (1)月曜日(当該月曜日が国民の祝日に当たるときは、当該月曜日後最初に到来する同法に規定する休日以外の日) (2)12月29日から翌年1月3日まで 217日 148日 (臨時休館:コロナウィルス感染拡大防止に伴う休館106日、札幌人形劇祭に伴う休館2日含む)	
(2)施設使用の承認について		・札幌市こども劇場条例及び札幌市こども劇場条例施行規則に基づき、実施した。	
(3)利用の制限に関する事項		・該当事例なし。	
(4)札幌市個人情報保護条例の適用について		・個人情報の取り扱いについては、札幌市個人情報保護条例に基づき適正に処理を行った。また、個人情報の開示の要望はなし。	
(5)札幌市情報公開条例の適用について		・該当事例なし。	
(6)札幌市行政手続条例の適用について		・札幌市行政手続条例に基づき適正に処理を行った。	
(7)札幌市オンラインマニュアルの適用について		・該当事例なし。	
(8)札幌市暴力団の排除の推進に関する条例の適用について		・札幌市暴力団の排除の推進に関する条例に基づき、適正に処理を行った。該当照会実績なし。 (使用承認申請書での確認、協定に関連する契約業者の確認)	
(9)障害者差別解消法の適用について		・障害者差別解消法を踏まえた、札幌市の対応方針及び接遇要領に基づき、合理的配慮等の利用者対応を行った。	
2. 統括管理業務			
(1)管理運営業務の基本方針の策定	『未来ある子どもたちの夢をはぐくむ劇場づくり』 札幌市こども人形劇場こぐま座は、「人形劇、児童劇等の制作及び発表と制作団体の育成を通じて、青少年の情操のかん養を図り、もってその健全な育成その他の活動に資すること」を目的に設置された施設である。 全国的に珍しい子どものための専門劇場であり、子どもたちが人形劇や演劇等に親しみ、笑顔あふれ、夢を持って育つことを願い、運営を行うことを基本方針として策定した。	・施設設置の理念に基づき、基本方針を策定した。市民にとっての劇場のあり方と、地域における劇場の役割を具体化し実践した。また、当方針を達成するため全職員が意識を1つにして、親しみやすい劇場作りに努めた。	
(2)平等利用の確保に向けた考え方と取組	人形劇や演劇等、子どもたちのために舞台表現活動を行う団体に対しては、幅広く受け入れ優れた作品を安価で上演できることを劇場運営の基本方針とした。劇場職員は、観客である子どもとの家族を温かく迎え入れ、親しみやすい雰囲気を作るとともに、上演する団体の支援者となることに努めた。		
(3)地球温暖化防止対策及び環境配慮の推進	環境行動マニュアルに基づき、環境に意識し業務を推進した。観客に無理のない範囲で冷暖房の節約を行い、電気量の節電など環境に配慮した取り組みを行った。	・環境行動マニュアルに基づき、各エネルギー(電気、水道等)の節約に努め、施設運営を行った。	

<p>(4)管理運営組織の確立</p>	<p>①責任者の配置、組織整備 ・統括責任者1名配置。 ・事務分掌、緊急連絡体制等を定めた。</p> <p>②従事者の確保・配置 ・職員の配置体制</p> <table border="1" data-bbox="398 271 1096 496"> <tbody> <tr> <td>統括責任者</td><td>1名</td><td>統括責任者(やまびこ座・こぐま座兼務)</td></tr> <tr> <td>職務代理者</td><td>1名</td><td>こぐま座の管理運営責任者 (中島児童会館兼務)</td></tr> <tr> <td>事業指導担当者</td><td>1名</td><td></td></tr> <tr> <td>舞台技術担当者</td><td>1名</td><td></td></tr> <tr> <td>事業担当補助者</td><td>1名</td><td></td></tr> <tr> <td>計</td><td>5名</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>③人材の育成</p> <p>(1)派遣研修(劇場運営関係) 　全国人形劇関係機関及び児童文化関係施設との連携を密にすることで、職員の専門知識向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども文化セミナー参加 　7月31日(土) 職員4名 ・子どものまなび塾参加 　Ⅰ期: 8月27日(金)～28日(土) 　Ⅱ期: 10月14日(木)～15日(金)、10月19日(火)～20日(水) 　Ⅲ期: 11月4日(木)～7日(日) 職員4名 ・継続被災地支援活動(福島県)参加 　12月3日(金)～9日(木) 職員4名 　3月8日(火)～14日(月) 職員4名 ・全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会 　1月12日(水)、1月14日(金) 職員3名 ・第13回砂川人形劇フェスティバル参加 　3月19日(土)～21日(日) 職員4名 <p>(2)子どもの劇場・こども人形劇場職員研修 ・職員研修 　劇場の理解等 4月22日(木) 職員4名 　障害児への理解と支援 1月27日(木) 職員3名 　人形劇ゼミナー(人形劇指導研修) 　4月15日(木)～8月9日(月) 職員4名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来構想/広報戦略プロジェクト 　通年 職員3名 ・刈払機取扱作業者安全衛生教育 　5月25日(火)、6月11日(金) 職員2名 <p>(3)公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会職員研修 ・階層別研修 ・目標管理制度 ・個人情報保護研修 ・評価者研修</p>	統括責任者	1名	統括責任者(やまびこ座・こぐま座兼務)	職務代理者	1名	こぐま座の管理運営責任者 (中島児童会館兼務)	事業指導担当者	1名		舞台技術担当者	1名		事業担当補助者	1名		計	5名		<p>・管理業務を適切に行うため、人形劇や児童劇、舞台、照明、音響に係る専門職員をはじめ、管理に係る職員を適正に配置し、組織を確立した運営を行った。</p> <p>・劇場職員として専門性を高めるため、児童文化関連施設や各種事業・研修会に職員を派遣し、職員一人ひとりが創造者として利用者と関わるべく多様な場で研鑽に努めた。</p> <p>・コロナウィルス感染拡大防止に伴う休館中に職員研修(人形劇ゼミナー)を行ったことで、スタッフ一人ひとりの業務への理解が深まり、利用者側の立場、ニーズをイメージしやすくなった。この理解を生かし、利用者のニーズに応えていくことが期待できる。</p> <p>・2つのテーマにおける課題の洗い出しと業務改善を行うプロジェクトにより、劇場職員としての意識向上と、人材育成の両面から成果に結びつけることができた。</p> <p>・公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会職員研修計画に基づき、各職員の資質向上を目指した研修を実施した。</p>
統括責任者	1名	統括責任者(やまびこ座・こぐま座兼務)																		
職務代理者	1名	こぐま座の管理運営責任者 (中島児童会館兼務)																		
事業指導担当者	1名																			
舞台技術担当者	1名																			
事業担当補助者	1名																			
計	5名																			
<p>(5)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>・職員の勤務時間を適正に管理するため「勤怠管理システム」を導入し、法令遵守に結び付けた。 ・職員の健康管理に係る取組みとして、産業医を導入した。 ・法令に基づき、時間外労働または休日労働させる場合の労使協定(36協定)を労働者と締結し、労働基準監督署に届出を行った。 ・職員の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、医療保険に加入。また、必要に応じて適正に届出等を行った。 ・常勤職員のほか1年以上の有期雇用者に対して、1年に1回定期健康診断を実施したほか、再検査の費用負担を行った。 ・正規職員を新たに雇用する際、現在の非正規職員から希望者を募り、内部登用試験を実施した。 ・労災保険加入と、条件を満たす労働者を雇用保険に加入した。 ・法人として全ての常勤職員を対象にストレスチェックを実施した。 ・新型コロナウィルス感染症の対策として、事務室への飛沫防止アクリル板の設置や定期的な消毒、入場前の検温チェック、会場対応での防護用品の使用等で感染リスク低減に向けた環境を整備した。</p>	<p>・労働関係法令に関する理解を深めるとともに、雇用環境の維持向上に向けた取組を行うことができた。</p> <p>・新型コロナウィルス対応では、職場環境の整備と、可能な限り出勤者を減らす取組みにより、安心して仕事ができるよう努めた。</p>																		

(6)管理水準の維持向上に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・財団ネットワークシステムを活用した情報共有や都度ごとの担当者会議、定例的な職員会議を実施し、管理水準の向上に努めた。 ・日常業務のブラッシュアップを行い、業務効率の向上を図った。また、施設点検による安全面の確認を随時行った。 ・職員によるプロジェクトを組織し、職員一人ひとりが業務の質を上げ、先見的な方向性を打ち出せる人材の育成を目指した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・財団内の他部門との情報共有や協働実施を行い、より質の高い事業展開に結びつけることができた。 																		
(7)第三者に対する委託の方針	<p>第三者に対する委託業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の業務について、第三者に対する業務委託を行い、当該契約に基づき、必要な指導、指示及び検査を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>業務名</th><th>契約業者名</th><th>実施月</th><th>契約方法</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 舞台設備(吊物・照明・音響)保守点検業務</td><td>株式会社池下電設</td><td>3月</td><td>随意契約(特命)</td></tr> </tbody> </table>	業務名	契約業者名	実施月	契約方法	1 舞台設備(吊物・照明・音響)保守点検業務	株式会社池下電設	3月	随意契約(特命)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の良好な維持管理のため、年1回の舞台設備保守点検業務を実施。 										
業務名	契約業者名	実施月	契約方法																	
1 舞台設備(吊物・照明・音響)保守点検業務	株式会社池下電設	3月	随意契約(特命)																	
(8)札幌市及び関係機関との連絡調整等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催回</th><th>開催日</th><th>協議・報告内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運営協議会(第1回)</td><td>11月12日</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告(上半期) ・セルフモニタリング報告(上半期) ・今後の事業展開や施設運営について ・新型コロナウィルス対策について </td></tr> <tr> <td>運営協議会(第2回)</td><td>(書面開催)</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告(下半期) ・アンケート結果及びセルフモニタリング報告(下半期) <p>※新型コロナウィルスの感染拡大防止の観点から書面による報告と意見集約を実施。(当初予定3月4日)</p> </td></tr> <tr> <td>業務・財務検査</td><td>3月11日</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・業務検査 ・財務検査 </td></tr> <tr> <td>利用者説明会</td><td>3月23日</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・こぐま座45周年事業報告 ・施設利用について ・新型コロナウィルス感染予防対策と劇団活動への影響について意見交換 </td></tr> <tr> <td colspan="3"><協議会メンバー>札幌人形劇協議会代表、東区市民劇団オニオン座代表、やまびこ座読み語りの会代表、小樽商科大学特認名誉教授、札幌市子ども未来局子どもの権利推進課長、札幌市こどもの劇場館長、札幌市こども人形劇場館長</td></tr> </tbody> </table>	開催回	開催日	協議・報告内容	運営協議会(第1回)	11月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告(上半期) ・セルフモニタリング報告(上半期) ・今後の事業展開や施設運営について ・新型コロナウィルス対策について 	運営協議会(第2回)	(書面開催)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告(下半期) ・アンケート結果及びセルフモニタリング報告(下半期) <p>※新型コロナウィルスの感染拡大防止の観点から書面による報告と意見集約を実施。(当初予定3月4日)</p>	業務・財務検査	3月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・業務検査 ・財務検査 	利用者説明会	3月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・こぐま座45周年事業報告 ・施設利用について ・新型コロナウィルス感染予防対策と劇団活動への影響について意見交換 	<協議会メンバー>札幌人形劇協議会代表、東区市民劇団オニオン座代表、やまびこ座読み語りの会代表、小樽商科大学特認名誉教授、札幌市子ども未来局子どもの権利推進課長、札幌市こどもの劇場館長、札幌市こども人形劇場館長			<ul style="list-style-type: none"> ・運営協議会を設置し、委員の方へ事業実施状況等の報告を行い、施設運営についての意見交換を行った。 ・札幌市による業務・財務検査を受け、業務改善に努めた。 ・利用者説明会では、施設からの連絡やコロナウィルス感染拡大による活動への影響や対策についての意見交換を行った。
開催回	開催日	協議・報告内容																		
運営協議会(第1回)	11月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告(上半期) ・セルフモニタリング報告(上半期) ・今後の事業展開や施設運営について ・新型コロナウィルス対策について 																		
運営協議会(第2回)	(書面開催)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告(下半期) ・アンケート結果及びセルフモニタリング報告(下半期) <p>※新型コロナウィルスの感染拡大防止の観点から書面による報告と意見集約を実施。(当初予定3月4日)</p>																		
業務・財務検査	3月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・業務検査 ・財務検査 																		
利用者説明会	3月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・こぐま座45周年事業報告 ・施設利用について ・新型コロナウィルス感染予防対策と劇団活動への影響について意見交換 																		
<協議会メンバー>札幌人形劇協議会代表、東区市民劇団オニオン座代表、やまびこ座読み語りの会代表、小樽商科大学特認名誉教授、札幌市子ども未来局子どもの権利推進課長、札幌市こどもの劇場館長、札幌市こども人形劇場館長																				
(9)財務(資金管理、現金の適正管理)	<ul style="list-style-type: none"> ・資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとの区分経理を実施している。 ・金銭等の取扱いについては、当財団が定める処務規定及び財務規程、金券等取扱要領に基づき、適正に経理事務を行った。 ・当財団における内部監査の実施や、公認会計士による外部監査を導入している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現金の取扱いについては、複数職員による確認を行い、金銭事故防止に努めている。 																		
(10)要望・苦情対応	<ul style="list-style-type: none"> ・「迅速・適切・真摯・平等」で「利用者の立場に立つ」対応を心掛けた。 ・意見箱を設置し、日常的に市民の声を聞くことができる環境を整えた。 ・ご意見・ご要望については職員会議にかけ、迅速に対応した。(令和3年度については、意見箱への要望・苦情は無し。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・直接いただいたご意見については、職員間で内容を共有し、原因分析を即座に行い苦情の低減に努めた。 																		
(11)記録・モニタリング・報告・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・業務実施に関する記録、帳簿等の整備、記録保管に努めている。(業務日誌、設備点検記録、事業記録、経理書類、現金出納簿等) ・劇団及び観客、事業参加者に対し、アンケート調査を実施し、常に市民からの声に耳を傾けている。 <p>※アンケート調査結果の詳細は「2 アンケートのまとめ」参照</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・セルフモニタリングにより自己評価を行い、今後の事業運営に繋げた。 																		

3. 施設、設備の維持に関する管理

(1)維持管理業		<ul style="list-style-type: none"> 利用者等の安全確保を第一に優先し、市民サービスの向上を図った。また維持管理計画の下、日常点検を行い対応を図った。 <p>① 清掃業務</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>実施状況</th><th>実施日</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 定期清掃</td><td>中島児童会館と複合施設であるため、中島児童会館の再委託業務により実施した。 契約業者：大洋美装(株)</td><td>通年</td></tr> <tr> <td>2 日常清掃</td><td>職員が対応。また、公演時には劇団が協力。</td><td>通年</td></tr> </tbody> </table> <p>② 警備業務</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>実施状況</th><th>実施日</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>中島児童会館と複合施設であるため、中島児童会館の再委託業務により実施した。 契約業者：北幹警備保障(株)</td><td>通年</td></tr> </tbody> </table> <p>③ 修繕工事の実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>修繕内容</th><th>修繕日</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>こぐま座正面フェンス修繕</td><td>6月30日</td></tr> <tr> <td>2</td><td>パワードスピーカー修繕</td><td>2月1日</td></tr> <tr> <td>3</td><td>光線式自動警報器交換工事</td><td>2月22日</td></tr> </tbody> </table> <p>④ 備品管理 《購入備品》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>物品名（帰属）</th><th>数量</th><th>購入年月日</th><th>金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>プレスト子機(活動協会)</td><td>1</td><td>8月11日</td><td>66,990円</td></tr> <tr> <td>2</td><td>パソコン(活動協会)</td><td>2</td><td>1月7日</td><td>198,000円</td></tr> <tr> <td>3</td><td>拡声機(活動協会)</td><td>1</td><td>1月7日</td><td>18,800円</td></tr> <tr> <td>4</td><td>音響周辺機器(活動協会)</td><td>2</td><td>2月25日</td><td>44,000円</td></tr> <tr> <td>5</td><td>タブレット(活動協会)</td><td>1</td><td>3月1日</td><td>93,060円</td></tr> <tr> <td>6</td><td>タブレット(活動協会)</td><td>3</td><td>3月11日</td><td>293,040円</td></tr> <tr> <td>7</td><td>PC周辺機器(活動協会)</td><td>4</td><td>3月24日</td><td>74,800円</td></tr> </tbody> </table> <p>⑤ 駐車場管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 劇団等の施設利用者に対し、車両進入許可証を発行し、公園内での事故等に十分注意し、関係者以外の進入を防げるよう努めた。 <p>⑥ 外構緑地管理、除雪作業</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地内の植木、除雪については、美観の保持、安全面、近隣住民への配慮等の点から、適切な維持管理を行った。 	区分	実施状況	実施日	1 定期清掃	中島児童会館と複合施設であるため、中島児童会館の再委託業務により実施した。 契約業者：大洋美装(株)	通年	2 日常清掃	職員が対応。また、公演時には劇団が協力。	通年		実施状況	実施日	1	中島児童会館と複合施設であるため、中島児童会館の再委託業務により実施した。 契約業者：北幹警備保障(株)	通年		修繕内容	修繕日	1	こぐま座正面フェンス修繕	6月30日	2	パワードスピーカー修繕	2月1日	3	光線式自動警報器交換工事	2月22日		物品名（帰属）	数量	購入年月日	金額	1	プレスト子機(活動協会)	1	8月11日	66,990円	2	パソコン(活動協会)	2	1月7日	198,000円	3	拡声機(活動協会)	1	1月7日	18,800円	4	音響周辺機器(活動協会)	2	2月25日	44,000円	5	タブレット(活動協会)	1	3月1日	93,060円	6	タブレット(活動協会)	3	3月11日	293,040円	7	PC周辺機器(活動協会)	4	3月24日	74,800円			<ul style="list-style-type: none"> 日常的に施設及び設備について機能全般の良好な維持に努め、市民が利用しやすい施設運営を行った。 <p>・日頃より館内の見回り、点検を行い、破損や故障等は、速やかに修理した。</p> <p>・市民の利用に支障が生じることのないよう、日頃より点検、清掃等を行った。</p> <p>・故障や劣化の著しい備品については、新規購入し、維持管理に努めた。</p> <p>・駐車場を利用する劇団利用者に対して、安全確認および注意を促すことで、公園内の安全確保に努めた。</p> <p>・中島児童会館及び中島公園管理事務所と連携し、日頃より適切な維持管理を行っている。特に問題なし。</p>	
区分	実施状況	実施日																																																																							
1 定期清掃	中島児童会館と複合施設であるため、中島児童会館の再委託業務により実施した。 契約業者：大洋美装(株)	通年																																																																							
2 日常清掃	職員が対応。また、公演時には劇団が協力。	通年																																																																							
	実施状況	実施日																																																																							
1	中島児童会館と複合施設であるため、中島児童会館の再委託業務により実施した。 契約業者：北幹警備保障(株)	通年																																																																							
	修繕内容	修繕日																																																																							
1	こぐま座正面フェンス修繕	6月30日																																																																							
2	パワードスピーカー修繕	2月1日																																																																							
3	光線式自動警報器交換工事	2月22日																																																																							
	物品名（帰属）	数量	購入年月日	金額																																																																					
1	プレスト子機(活動協会)	1	8月11日	66,990円																																																																					
2	パソコン(活動協会)	2	1月7日	198,000円																																																																					
3	拡声機(活動協会)	1	1月7日	18,800円																																																																					
4	音響周辺機器(活動協会)	2	2月25日	44,000円																																																																					
5	タブレット(活動協会)	1	3月1日	93,060円																																																																					
6	タブレット(活動協会)	3	3月11日	293,040円																																																																					
7	PC周辺機器(活動協会)	4	3月24日	74,800円																																																																					
(2)防災業務		<p>① 防災計画と組織</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災計画を定め、自衛消防組織を設置し、有事の際の迅速な対応に備えた。 <p>② 防災訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 中島児童会館と、2施設共同の防災計画・緊急連絡体制を定めている。 <p>避難訓練実施</p> <p>①9/30(参加人数14名) ②12/18(参加人数60名)</p> <p>③ 状況に応じた情報収集及び事故発生時の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関からの情報収集と館内利用者への正しい情報提供に備え、事故対応に努めている。 事故防止に備えた日常的な訓練等による危機管理体制を整え、賠償保険にも加入し不測の事態に備えた。 		<p>・災害や利用者の傷病に対する対応については、常日頃より気を配り、突発的な事態にも対応できるよう事前の準備を心掛けている。</p>																																																																					

4. 事業の計画及び実施に関する業務

<p>(1)児童文化の普及及び子ども の健全育成のための公演・展示会・講座等の開催に関する業務</p>	<p>コロナ禍の影響により、こぐま座45周年記念事業として準備を進めていた新規事業をはじめ、多くの人材育成事業が延期や中止となつたことは残念であった。しかし、創造活動を止めない工夫や準備を進める過程において、新たなアイディアや芸術性を取り入れるなど、創造的な作品を生むためのチーム内のつながりや結束力を高める時間となつたことの成果は大きく、次年度への可能性につながるものになった。また、子どものための専門劇場という特性から、人形劇や伝統芸能のワークショップ依頼や地域団体からの作品創造の協力依頼、人形劇制作依頼等、外部からのニーズは多岐に渡った。特に道からの依頼によるアイヌ人形劇制作の成果により、アイヌフォーラムや全道各地での公演依頼の可能性にもつながった。これまでの実績から他部門・他団体に認められることにより、今後の劇場づくりの新たな可能性を探る一年となった。</p> <p>【公演事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、こぐま座45周年記念事業の目玉であった「ピクニックシアター」「冬の野外人形劇」等、中止になつた大型事業も多くあつたが、市民に楽しんでもらえるよう特別公演等様々なプログラムを提供し、内容の充実を図つた。また、昨年度から試行的に行ってきた屋外公演「あおぞらキッズシアター」を有料化に転換したり、工作会とセットで実施する等、少しでも劇場に足を向けてもらえるような工夫を凝らした。野外で実施することにより広く市民に劇場の存在を知つてもらい、さらには施設に足を運んでもらうことを目的としていることから、劇場公演では更に観劇することのプレミア感(空間、照明、音響効果等)を感じさせることを意識した。 <p>【講座事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休館等の利用制限により、計画どおりに事業を実施できない面もあつたが、その中でもオンラインを活用する等できることから取り組んだ。このような状況下で時間は要したが、人材育成事業に職員が一つひとつ丁寧に関わつたことで心のこもつた作品創造ができたことは成果である。 <p>【子どもの舞台表現活動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7年前から継続して実施してきた、市内児童会館人形劇クラブの活動は9館にのぼり、確実に文化の裾野を広げてきたことを実感している。また、今年度より劇場スタッフと共に、人形劇団にも協力を得て実施できたことの相乗効果は大きい。 ・半世紀の節目となった第50回札幌人形劇祭では、24劇団もの参加があり、このコロナ禍の中で各劇団が工夫をして作品創造に取り組んだことの意味は大きいと感じる。特に子ども部門の飛躍は大きく、これまで劇場や児童会館等に向けて取り組んできた子どもたちに向けた文化体験活動による人材育成の手ごたえが感じられた。 ・今年度新たに、障がい児との舞台美術制作に挑戦した。人形劇の創作活動により障害の有無にかかわらず、小学生から大学生までが参加し、誰もが共に手を携えて取り組むことで、多様な人々が暮らす社会で共生する意識を育むことを目指した。 <p>【地域との共生および関係機関との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂川人形劇指導や近隣小学校とのアウトリーチ事業、劇場連絡会との取り組みなど、規模は縮小されたものの継続実施できた。 ・コロナ禍によって、生の舞台をどのように届けていくのか難しい状況の中ではあつたが、市内児童会館と連携し、「おでかけ公演＆舞台体験ワークショップ」事業を実施した。子どもたちに文化体験の機会を提供できたことはもちろん、劇団活動のモチベーションが上がらない中、このような機会を持てたことで、子どもたちの反応や喜ぶ姿を実感できたことは貴重だったと劇団の声も聞くことができた。 	<p>・今年度も、昨年から引き続きコロナ禍という不測の事態によって、あらゆる事業の再考を余儀なくされた。しかし、文化芸術の意味や子ども文化施設としての役割を、改めて劇団とともに考える機会となった。</p> <p>・昨年度と比較し休館期間は長かつたものの、感染症対策と両立する社会経済活動の継続等の影響により、利用者の創作意欲が戻ってきており、大いに健闘したと言える。11月からの事業再開に伴い、各劇団の活動を後押しできるよう丁寧に関わることができた。</p> <p>・昨年から引き続き、コロナ禍における文化発信ということが課題にある。文化活動を支える人材育成事業の継続、子どもの文化に関わる相談業務、劇団活動の活性化、上演作品の質的向上のために、劇場としてどのように関り、サポートしていくかを考え、ひと手間を惜しまない努力が問われる。</p> <p>・機材の購入等により、講習会事業の一部をオンラインを活用して実施。しかし、事業の内容によっては、オンラインに限界もあり今後に向けて課題も残つた。感染対策を取りながら、どのような取り組みなら共存していくのか、参加者に受けいられるのかニーズと可能性を追及していく。</p> <p>・学びや遊び、さまざまな体験活動が制限されるなど、子どもたちの生活に大きな変化をもたらしている。こうした変化は、子どもたちの心身の発達や健康にどのような影響を及ぼしていくのか。子どもたちの成長に必要な豊かな体験機会を創出する工夫や環境づくりを継続して実施していく。</p> <p>・障害等の有無にかかわらず誰もが認め合い支え合える関係を理想とし、そのためのノウハウの蓄積を行い、文化芸術による共生社会の推進を目指す。</p> <p>・展示の入れ替え、MA・SO・BO通信の発行、専門書の貸出等、利用者獲得のための広報、利用者を惹きつける戦略を推し進めている。</p>
-----------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【社会貢献事業の取り組み】

・継続してきた福島県への継続支援活動はコロナ禍により一部中止になった期間もあったが、リモートでの人形劇・人形浄瑠璃の指導を組み込みながら、福島での公演活動や成果発表、あそびの広場等をとおし交流することができたことは成果である。

【展示室の活用およびその他】

- ・コロナ禍の中、狭い空間であそびを展開する難しさがあった。リピーターを得るため、季節ごとに魅力ある玩具の入れ替えや、あそびの特集等、資料室とリンクした事業展開を意識した。
- ・展示室の活用により著名人の原画や子どもたちの作品展示等をとおして、新規利用者獲得につながった点は、次年度も続けたい。
(絵本原画展:年3回実施)

【中島児童会館との一体運営の取り組み】

・子ども文化センター的役割を意識し、子ども文化における人材育成拠点としてボランティア育成事業「まなび塾」「こども文化セミナー」の実施や、表現あそび「あそびの劇場」「MA・SO・BO通信(年6回)」の発行を行い、子どもたちの未来のためにどうしていくべきかを問題提起し発信等を行った。

ア 利用状況実績

観劇者数	無料	625 人
	招待	158 人
	有料	3,499 人
合計 (a)		4,282 人
出演者数(含むリハーサル) (b)		1,152 人
研修・見学者等の数 (C)		7,493 人
総数 (a+b+C)		12,927 人
上演回数		142 回
上演日数		94 日
仕込み・リハーサル・研修日数		127 日
上演1回あたりの観客数		30.2 人

利用人数 (前年度 10,345人・前年比125%)

※コロナウイルス感染拡大防止5/3~7/11、8/28~9/30臨時休館及び入場制限(定員の半数)

イ 事業実績 別紙業報告書参照

(2)子どもに関する舞台活動の拡充に関する情報収集・調査研究・立案及び提供に関する業務

将来を見据えた施設づくりに向けての資料として、アンケート調査を実施した。利用者がどのようなサポートが必要としているか等、劇団活動を活性化させるためのアプローチの検証や、学校教育施設への出前公演、劇場での団体観劇、鑑賞教室の誘致、文化体験教室等の実施の可能性等の情報収集を行った。

・「子どものための文化芸術団体アンケート調査」
文化芸術活動の担い手である団体等の活動実態やニーズを調査し、活動を支援する取り組み、子どもたちの豊かな体験機会を守るために必要な劇場運営の在り方や新たな事業展開を検討するための資料として活用。

調査対象:札幌市内及び近郊の人形劇、読み聞かせ等を行う文化団体

・「芸術鑑賞に関するアンケート調査」

学校教育現場において実施されている鑑賞機会、文化体験機会の実態やニーズを調査し、今後の劇場運営や施策の検討、実現のための資料として活用。

調査対象者:札幌市及び石狩管内の小中学校、特別支援学校

・コロナ禍の状況下において、残念ながら目標数値に達することができなかった。度重なる閉館等の措置により、上演回数、上演日数等、すべての目標数値には及ばなかったが、10月以降、諦めずに継続した形での公演を続けることができたことは、これまでのこぐま座の実績と劇団の努力と評価されて良い。また、利用者総数と同じく、再開後の事業参加者数についても、昨年度に比べると戻りつつある。

・アンケート調査に向け、準備や検証を進める中で、将来の劇場づくりに対する裏付けとなる材料を得たことは成果である。

・劇団や文化芸術活動に携わる方や教育施設等のニーズを知ることで、今後の劇場運営、事業実施の方向性を考え、未来ビジョンを描く。

(3)劇団育成支援に関する業務	<ul style="list-style-type: none"> ・劇団支援策として「札幌市こども人形劇場こぐま座支援事業」を実施。各劇団の中島児童会館占用利用について、使用料の一部を負担。※申請件数32件 ・運営協議会、利用者説明会、利用者アンケートを実施。利用者(劇団)側からの様々な要望を聞くことができた。 ・市民ボランティア登録が19名。スタンプラリーゆび人形制作(11名)、資料室MASOBOおはなしの会(8名)、イベント等の事業運営スタッフとして活躍した。 ・各劇団、ボランティアが劇場を通して交流する機会の提供 <ul style="list-style-type: none"> ①GWイベント(5月)※中止 ②開館記念祭「かもくま祭」(7月)※中止 ③札幌人形劇祭(1月)※やまびこ座と協働 ④雪あかりタイアップ事業(2月)※中止 ⑤MA・SO・BOカーニバル(2月)※中止 	<ul style="list-style-type: none"> ・劇団の育成のため、今後も継続して支援活動に取り組んでいく。 ・運営協議会、利用者説明会、利用者アンケート等を実施し、劇団側に十分な説明や意見交換を行うことで、施設の利用と協力体制を強化することができた。 ・市民ボランティアとの協働事業の実施はほぼ中止となった。その中でも、自宅で指人形制作やおはなしの会工作等の協力を得ることができた。
(4)人形劇等に関する指導、相談業務	<ul style="list-style-type: none"> ・人形劇の制作のための技術的指導ができる職員を配置し、日頃から人形劇について、指導、助言ができる体制作りに努めた。公演時や稽古時等において、適宜アドバイスを行い、劇団側と協働してより良い作品づくりを目指している。今年は、コロナによる臨時休館が多く上半期に事業が実施できなかった。しかし、後半に期間を短縮して人材育成事業を実施したことにより、1月に人形劇祭を行うなど、子どもたちや初心者講座の受講生への活動の継続支援を行うことができた。 ・子どものための専門劇場という特性から、人形劇や児童劇、伝統芸能の公演や講師の派遣等、感染状況の落ち着いた時期による突発的な協力依頼が多岐に渡った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常日頃からの市民対応が行える体制づくりの強化はもちろんのこと、人材育成や新規事業等の広いニーズに臨機応変に対応できるような体制を整えることが課題である。
(5)その他	<p>特別事業の実施実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ①こぐま座45周年記念「サイトスペシフィック・パフォーマンス」 ウォークラー要素を加えた体験型人形劇ツアーを予定していたが中止。 ②札幌国際人形劇フェスティバル(海外特別公演) 海外から人形劇団を招聘する予定であったが中止。 ③冬の野外巨大人形劇「マルシュカと12の月」 さっぽろ雪まつりの中止に伴い中止。 ④おそとで人形劇場 「あおぞらキッズシアター」「ほしづらキッズシアター」 8月11日、12日 (4ステージ実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も特別事業が軒並み中止となった。しかし、特にコロナ禍において密を避ける等の野外劇場の効果は絶大であり、劇場へ足を運んでもらう戦略の一つとしても、次年度必ず実施したい。

5. 施設の利用等に関する業務

(1)貸館業務計画	<p>① 受付カウンター業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設使用に当たっては、札幌市こども劇場条例及び札幌市こども劇場条例施行規則に基づき、申込受付を行う。施設利用者は、「札幌市こども人形劇場使用承認申請書」に記入の上、提出。 ・受付時間については、午前8時45分～午後5時15分。 ・ホール使用に当たっては、3ヶ月前の1日から受付を行い、電話での仮申込也可とする。 ・各劇団の中島児童会館夜間占用利用については、こぐま座の自主事業『札幌市こども人形劇場こぐま座支援事業』として使用料の一部負担。利用申込については、中島児童会館と協議の上、申請手続きを定め、申請様式を作成して実施。 ・利用台帳を作成し、利用の調整を隨時行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用申込受付については、条例に基づき、適正に処理を行った。特に問題はなし。 ・こぐま座支援事業については、事務フローを作成し、適正に処理を行った。
	<p>② 施設の案内及び説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公演時の観客者対応、劇団の施設使用時、日常の直接来館時の問い合わせ、電話対応等において、施設、公演等案内及び説明を行う。 	感染対策等丁寧に対応した。
	<p>③ 備付物件の貸出と管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公演のリハーサル、準備、本番時において、劇団への備付物件の貸出を行う。また、使用後の確認及び点検を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常日頃より備品等を点検確認し、利用者の使用に支障が生じないようとした。

(2)使用承認等に関する業務	<p>① こども人形劇場の使用申込の受付及び使用的の承認、不承認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設使用承認に当たっては、札幌市こども劇場条例及び札幌市こども劇場条例施行規則に基づく。提出された「札幌市こども人形劇場使用承認申請書」を精査の上、承認。その際に「札幌市こども人形劇場使用承認書」を発行する。 ・不承認について該当事例なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設使用承認については、条例に基づき、適正に処理を行った。 							
	<p>② 施設使用に当たって、特別の設備を設け、又は特殊な物件を搬入しようとするときの当該行為の承認、不承認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当事例なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・該当事例なし。 							
	<p>③ 使用承認等の条件の変更、施設の使用の停止命令又は使用承認等の取り消し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当事例なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・該当事例なし。 							
	<p>④ 利用料金の徴収事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌市こども劇場条例及び札幌市こども劇場条例施行規則に基づき、劇場使用料の徴収事務を行う。使用料については、下表のとおり。 <table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">単位</th> <th style="text-align: center;">使 用 料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1回の公演 につき</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">同一のプログラムによる 上演が1回の場合</td> <td style="width: 50%;">入場料等の総額の5パーセントに相当する額</td> </tr> <tr> <td>同一のプログラムによる 上演が2回以上の場合</td> <td>入場料等の総額の10パーセントに相当する額</td> </tr> </table> </td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和3年度利用料金収入総額…58,100円</p>	単位	使 用 料	1回の公演 につき	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">同一のプログラムによる 上演が1回の場合</td> <td style="width: 50%;">入場料等の総額の5パーセントに相当する額</td> </tr> <tr> <td>同一のプログラムによる 上演が2回以上の場合</td> <td>入場料等の総額の10パーセントに相当する額</td> </tr> </table>	同一のプログラムによる 上演が1回の場合	入場料等の総額の5パーセントに相当する額	同一のプログラムによる 上演が2回以上の場合	入場料等の総額の10パーセントに相当する額
単位	使 用 料								
1回の公演 につき	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">同一のプログラムによる 上演が1回の場合</td> <td style="width: 50%;">入場料等の総額の5パーセントに相当する額</td> </tr> <tr> <td>同一のプログラムによる 上演が2回以上の場合</td> <td>入場料等の総額の10パーセントに相当する額</td> </tr> </table>	同一のプログラムによる 上演が1回の場合	入場料等の総額の5パーセントに相当する額	同一のプログラムによる 上演が2回以上の場合	入場料等の総額の10パーセントに相当する額				
同一のプログラムによる 上演が1回の場合	入場料等の総額の5パーセントに相当する額								
同一のプログラムによる 上演が2回以上の場合	入場料等の総額の10パーセントに相当する額								
<p>⑤ 利用料金の減額若しくは免除又は還付に関する事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当事例なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・該当事例なし。 								
<p>⑥ 入場の制限その他施設の秩序維持に関する事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当事例なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・該当事例なし。 								

6. 管理業務に付随する業務

(1)広報業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのアクセス数は54,178件で、前年度比(38,913件)139%という結果になった。また、新規アクセスは61%、再アクセスは39%であった。ウェブアクセシビリティを考慮し、誰もが利用しやすいホームページ作成を目指した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報業務は、劇場の認知度向上と観客数に直結する重要なものであるとの認識のもと、常に情報発信を行っている。今年度もコロナウィルス感染症による休館はあったものの、ホームページのアクセス数は一昨年度の件数(57,787件)に近づけることができた。今後、ホームページのURLをよりわかり易くできるよう、独自ドメインを取得し令和4年度には移行・運用していく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな広報戦略として、無料通信アプリLINEを活用し、週ごとに公演情報を登録者に配信することをスタートし、利用者の利便性と集客につなげた。 ・公式SNS(Twitter、Facebook、Instagram)によるリアルタイムでの情報発信を行った。 ・定期的に(年6回)こどもの劇場通信(公演情報、事業案内等)、MA・SO・BO通信(子ども文化の発信)をやまびこ座と共同で発行し、市内公共施設、関係機関、児童会館等、及びやまびこ座近隣小学校5校へ配布した。また、公演ごとに来館者へ配布した。 ・札幌市イベント情報に毎月公演・事業情報を掲載。公演情報を各報道機関等に提供する等、宣伝活動に努めた。また、チラシ・ポスターを作成し、市民への配布のほか、地下鉄駅や劇場館内への掲示を行い周知を図った。 ・公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会発行のさっぽろ・こども情報誌「あそぼ」(市内全小学生配布)に、公演情報を毎号掲載した(年6回各10万部発行)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報をテーマにしたプロジェクトのワーキンググループを組織し、より多くの市民に来館いただける方策を検討した。公式LINEの運用を開始し、毎週公演情報の周知に活用した。 ・ウェブ予約が浸透しつつあり、コロナ禍による連絡先の把握等、利用者の利便性やスタッフの業務効率化につながっている。また、予約状況を事前に把握できる点においても、劇団やスタッフが対応を検討する上で参考としている。当日のキャンセルが生じる状況については、対応を検討していく。

(2)施設ホームページの ウェブアクセシビリティの確保	・札幌市公式ホームページウェブアクセシビリティの方針に準じて、アクセシビリティの維持・向上に努め、HPの更新を行った。	・ウェブアクセシビリティを考慮し、誰もが利用しやすいホームページを作成した。
(3)引継ぎ業務	・前回から継続指定のため、引継ぎ業務なし	

7. 札幌市内の企業等の活用について

(1)市内企業等 の活用、福祉施 策への配慮等	・第三者に対する業務委託、物品の調達等を行うにあたり、札幌市内の企業等を積極的に活用している。	
-------------------------------	-------------------------------------------------	--

8. その他

(1)自主事業の 実施	<p>《物品販売事業》</p> <p>市民サービスの一環として、マスコット人形や人形劇キット、手づくりおもちゃ、オリジナルグッズ等の販売を各人形劇公演時に実施。集客の一助、リピーターの確保等につなげ、公演の活性化を図る。</p> <p>実施期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日</p> <p>販売商品：</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ハンドパペット 金額：150円～700円 ②オリジナルグッズ(こぐまちゃんラバーストラップ、ピンバッジ等) 金額：50円～1,785円 <p>【販売実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ハンドパペット：販売個数 20個 売上額 11,400円 ②オリジナルグッズ：販売個数 255個 売上額 47,600円 <p>合計：販売個数 275 売上額 59,000円</p> <p>※コロナウィルス感染予防のため5/3～7/12、8/27～9/30まで臨時休館</p>	・市民サービスの一環として物品販売を実施した。休館期間が長かったこと、入場制限等により売り上げは伸びていない。引き続き、来場者に喜ばれる新たな商品開発を行い、観劇の記念に残る品物と親しみ易い劇場に繋がるよう販売を行う。
(2)改修工事・大 規模 修繕について	・こぐま座正面玄関階段手摺修繕(札幌市発注)11月	
(3)映画等の撮 影の申し出 を受けた場合 の対応	・該当事例なし。	

2 アンケートのまとめ

1. 実施目的	施設利用者に対してアンケートを実施し、利用者の満足度や市民からの要望、意見を集約していくことで、業務を振り返り、業務の改善に反映させるよう努める。
2. 実施内容及び 実施方法	<p>観客用アンケート、利用者(劇団)アンケート、事業別参加者アンケートをそれぞれ作成し、実施。</p> <p>① 観客用アンケート</p> <p>各公演時において、来館した観劇者に対しアンケートを配布。公演の周知方法、これまでの来館数等の回答者についての設問や劇場の設備について、職員の対応等の設問、また具体的なお芝居の感想に対し、回答していただいた。記名方式(無記入可)。</p> <p>② 利用者(劇団)アンケート</p> <p>劇場を利用する劇団に対し、アンケートを実施。普段、劇団の活動で劇場を利用するに当たり、劇場の使いやすさや職員の対応といったソフト面とハード面の両面について回答していただいた。実際にお芝居を創っていくまでの環境、職員の支援体制、劇場の設備について、職員の対応等に対する設問。記名方式(劇団名、氏名 無記入可)。</p> <p>③ 事業参加者アンケート</p> <p>事業参加者(受講者)に対し、各事業ごとの終了後にアンケートを実施。事業プログラム内容や講師、担当職員の対応、施設の使いやすさ等について回答していただいた。記名方式(無記入可)。</p>

3. アンケート結果

		観客用 アンケート	利用者(劇団) アンケート	事業参加者アンケート				
				こども人形劇 団	文化セミ ナー(ひだ のかな)	こどもの まなび塾 Ⅰ期	こどもの まなび塾 Ⅱ期	まなび塾 Ⅲ期
① 実施期間	4月1日～ 3月31日	4月1日～ 3月31日	4月～ 3月	7月31日	8月27 日・28日	10月14・ 15・19・ 20日	11月4～ 7日	
② アンケート回収枚数(枚)	1,160	13	8	12	16	26	21	
③ 職員の対応、説明(点)	4.5	4.8	4.4	4.5	4.9	4.7	4.9	
④ 劇場の設備(点)	4.3	4.3	4.3	4.1	4.6	4.8	4.5	
⑤ 観劇のマナー(点)	4.3							
⑥ 芝居づくりの上での施設 の環境整備(点)		4.6						
⑦ 芝居づくりの上での劇場 のサポート(点)		4.7						
⑧ 利用申込、手続きの仕方 (点)		4.4						
⑨ 事業プログラム内容(点)			4.4	4.9	4.9	4.7	4.9	
⑩ 講師について(点)			5.0	4.8	4.9	4.8	4.9	
事業参加者アンケート								
		ワークショップ (あべひろし)	ワークショップ (だるまのおも しろ楽器教 室)	ワークショップ (かとうま ふみ巨大 絵本)	初心者のた めの人形 劇講座	指人形制 作ボラン ティア		
① 実施期間	10月17日	10月23日	3月5日	3月5日	4月～ 11月11 日	4月20日 ～ 3月25日		
② アンケート回収枚数(枚)	11	16	9	8	5	6		
③ 職員の対応、説明(点)	5.0	4.6	5.0	4.9	5.0	4.7		
④ 劇場の設備(点)	4.5	4.1	4.3	5.0	5.0	4.2		
⑤ 観劇のマナー(点)								
⑥ 芝居づくりの上での施設 の環境整備(点)								
⑦ 芝居づくりの上での劇場 のサポート(点)								
⑧ 利用申込、手続きの仕方 (点)								
⑨ 事業プログラム内容(点)	4.9	4.6	4.9	5.0	5.0	4.7		
⑩ 講師について(点)	4.9	4.7	5.0	5.0	5.0	4.7		

4. 評価及び考察

①観客用アンケート

- ・職員の対応について、平均4.5以上と高評価をいただき、親切に対応してくれたという意見を多くいただいた。上演まで遊べる場所(MA・SO・BO)があるのでことで、人形劇を待っている間も楽しめるという意見もいただいた。こぐま座はロビーがないため、引き続き来場者に喜ばれる空間づくりを目指す。
- ・設備についてコロナ禍によりホールの換気を積極的に行うことにより、寒かった等の室内温度に関するご意見もあった。反面、換気の状況がわかり安心して利用できたというご意見もあるため、引き続き観客が心地よく観劇してもらえることを考えながら工夫して対応したい。
- ・その他、どんなお芝居を観たいか記述していただいたものについては、利用者説明会等で劇団と共有し作品創造の参考にしていく。

②利用者(劇団)アンケート

- ・回収23枚(回収率58%:劇団30劇団中23劇団)
- ・支援体制について(施設の環境整備、劇場のサポート)は、ともに「とても良い」「良い」の回答を多くいただき、道具や機材が充実している点やスタッフが親切に対応してくれたことについて、評価をいただいた。
- ・施設サービスについて(利用のしやすさ、職員の対応)についても、ほぼ満足していただいている。貸室の利用手続きの仕方がもう少し手軽にできないかとの意見もあったので、利用者にとってより便利な方法を模索していきたい。また、いただいた意見・要望は今後の施設運営向上に向け参考にしていく。

③事業別参加者アンケート

- ・主催事業より、7事業についてアンケートを実施し、151名より回答。
- ・事業内容については、どの事業についても「とても良い」「良い」の回答を多くいただき、「丁寧に接してくれた」「分かりやすい説明だった」など高評価が得られた。施設の老朽化についての指摘も見られるため、可能な限り改善するとともに、今後も利用者の満足を得られるよう各事業の充実を図る。

5. 全体を通して	<ul style="list-style-type: none"> ・観客アンケートを改訂したことの(居住区、年齢区分、他事業への興味関心等)効果により、丁寧な対応を心がけるようになった。劇団アンケートから浮かび上がる、作品創造の苦悩、指導者の育成、劇団員の不足、交流の場の必要性等、劇場として劇団の自主性を促すためのサポートの仕方をスタッフがどう学んで波及させていくかが課題である。 ・新たに公式LINEの運用が始まった。登録者数は徐々に伸びているが、まだ十分に認知されてはいない。登録者数の増加を目指す工夫をし、より効果的な活用方法について考えていきたい。また、公式SNSを活用した広報についても、一層力を入れて取り組み、利用者の増加につなげたい。 ・利用者の総合満足度が高く、丁寧にかかわっていくことが、継続して活動を続ける後押しになるということを実感した。講座等での支援とともに、劇団の自主公演の支援を行うことで、活動を継続して行うサポートとなるように今後もかかわっていきたい。 ・劇場内の雰囲気について、好評いただいている意見が多く見られた。今後も利用者にとって過ごしやすく、好感を持たれるよう、清潔な環境整備に努めていきたい。
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 令和3年度管理業務総括

1. 総合評価	<p>未だ終息が見えない新型コロナウィルスの影響により、今年度も施設の休館や時短開館など様々な制約の中での施設運営となった。</p> <p>こぐま座は開館45周年の節目ということで多くの記念事業を計画していたが、内容変更と規模縮小を余儀なくされ、準備を進めていたサイトスペシフィック・パフォーマンス「ピクニックシアター」は直前に中止となつたことは残念であった。しかし、「あつまれ！人形劇大集合」と題し、市内の劇団を中心とした人形劇の連続公演を実施し、これまでの歴史と思いのこもった記念事業ができた成果は大きい。</p> <p>また、多くの人材育成事業も延期や中止となつたが、創造活動を止めないという信念と工夫により、劇団や専門アーティストの皆さんと力を結集して作品を創り出すことに多くの時間を割くことができた。この繋がりと実績を次年度の事業展開に引き継いでいく。50回の節目となつた札幌人形劇祭は、コロナ禍にもかかわらず24劇団と多くの参加があった。“コロナ禍だからこそ劇場に足を運んでほしい”という劇団の皆さんとの思いとそれに劇場として寄り添うことができた意味は大きいと感じている。その中で子ども劇団の活躍が顕著であり、これまで継続して取り組んできた子どもたちの人材育成が実りつつある。</p> <p>中島児童会館との一体連携事業は、地域連携事業「かもくま祭」や、資料室MASOBO関連事業等、規模縮小や内容変更はあったものの継続実施することができた。中島公園で実施予定であった「冬の野外人形劇」はコロナ感染拡大で中止となつたが、札幌の冬の定番事業として市民に認知いただいている流れを止めずに継続する方法を考えていきたい。</p> <p>こぐま座・やまびこ座は子どものための専門劇場という特性から、人形劇や伝統芸能のワークショップの依頼や、団体や企業からの作品創造の協力依頼等を多くお受けした。これまでの実績の積み重ねにより評価をいただいており、今後の劇場づくりの新たな可能性を探る1年となった。</p> <p>①新型コロナウィルス対応 コロナウィルスの感染症対策として、前年度から継続してガイドラインに基づき、人数制限の上で、検温、換気、消毒、距離の確保等の対策を劇団と協働で実施した。来場者のご理解と、劇団の協力により安心できる状況での公演を継続することができた。</p> <p>また、文化庁から感染症対策に特化した助成を受け、カメラやミキサー等のリモート機材の購入を行つたことで、参加者と劇場をオンラインで繋げて事業を実施することができた。新たな形態として、対面形式と併用して事業を継続することに繋げることができた。</p> <p>②数値実績 目標である200回の公演回数には届かなかつたが、コロナ禍で昨年度よりも臨時休館日が多い状況下において、昨年度よりも多く(R2:104回→R3:142回、昨年度比136.5%)の公演を実施できた。作品創造と稽古を止めず劇団支援を行い、公演を継続できた成果は大きい。</p> <p>また、観劇者数も前年度比143.7%(R2:2,978人→R3:4,282人)とコロナによる落ち込みを回復しつつある。現在、人数制限で座席数の50%としているが、劇団からは採算が取れないことから緩和を求める声も多く聞かれる。今後のコロナ感染症の状況を踏まえ、段階的な緩和を検討していきたい。</p> <p>③収支状況 新型コロナウィルスの感染拡大に伴う施設休館及び利用制限で、道外からの往来を含めた規模の大きい事業の実施が困難となり、その他事業も中止や内容変更で減収となつた。しかし、コロナ禍で蓄積した新たなノウハウによる野外公演の実施と、休館明けの下半期には延期した主催公演や人材育成事業を着実に実施することで収益確保に繋げることができた。</p>
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 基本方針及び
来年度以降の重
点取組事項

基本方針

『未来ある子どもたちの夢をはぐくむ劇場づくり』

コロナ禍の影響で、人々が集まり一緒に行動を取らなくとも各自が離れた場所で役割を果たす新たな生活のスタイル、すなわち分散社会が現れてきている。取り残されそうな人を放置せず、生きづらさを抱える他者に寄り添う寛容さが求められ、将来にわたって持続可能な社会を築けるかを今問われている。

これらの社会変化や人々の行動変化、環境問題、教育格差等、様々な課題が突き付けられている現在、子どものための専門劇場として、そこを解消するために何ができるのか、本当の豊かさとは何なのかを考え、劇場運営をとおして社会課題に取り組んでいくことが重要である。

こども人形劇場・こどもの劇場では、「文化芸術が栄えること＝すべての子どもたちのこころの豊かさが育まれ、将来へ受け継がれていくこと」と捉え、文化芸術の力を実感する事業を展開し、札幌の文化をリードしていく。

良質な舞台芸術の創造発信、継続的な文化体験機会の創出を図り、将来における文化事業の重要性を今一度社会に知らしめ、芸術を守り育てていく持続可能な劇場づくりを目指す。

ソーシャルインクルージョンの機能を持ち、障がいの有無にかかわらず、誰もが文化体験の機会を享受できること、かかわる人材の育成、市民の持つ人的資源の発掘、子どもの文化に関する相談窓口、講師派遣など、公立専門劇場として様々な文化団体、劇団、市民をつなぐネットワークの拠点となることを実現していく。

また、令和4年度は札幌市との指定管理現契約の最終年度を迎えることを踏まえ、次期指定管理事業提案に向けた将来的な展望を見据え、市民ニーズに応える試行的な取り組みを展開する。

札幌市こども人形劇場こぐま座
令和3年度業務報告書

【事業実績】

(1)公演事業

区分	実施内容	実施日	ステージ数(回)	観客数(人)	備考
ア 一般公演	市内アマチュア人形劇団を中心に毎週土、日曜日、祝日、そして、学校休業期間(春、夏、冬休み)には平日も含め、人形劇等の公演を行った。	4月～3月	117	3,609	
イ 団体観劇	幼稚園、保育園等の園外活動の一環として、団体観劇を実施。こぐま座の有効活用。	通年	3	84	
ウ こぐま座夏の特別公演	普段あまり観ることができない道外の専門劇を招聘し、特別公演を実施した。(茶問屋ショーゴ)	7月17.18	3	83	
エ こぐま座45周年記念特別公演 あつれ！人形劇大集合 おもしろ人形劇団連続公演 特別公演	こぐま座45周年を記念して、札幌および道内のアマチュア人形劇団が集まり連続公演を実施。25日はこぐま座とのかかわりが深い専門人形劇団による特別公演を行った。(人形劇団えりっこほか)	7月24.25	5	117	
オ こぐま座45周年記念特別公演 仔熊夜会～特別編～	こぐま座45周年を記念して特別公演を実施。(人形芝居ふんぶく)	7月28日	1	29	
カ こぐま座45周年記念事業サイトスペシャル ピックアップオーマンズ ピクニックシアター 「コロポックル・シンパヤ」～中島公園イネップ(4つの)物語	こぐま座45周年を記念した野外人形劇プロジェクト。アイヌやオホーツクなどの北海道の歴史と文化をテーマにした作品を中島公園内の4つのステージを周りながら物語を体感する観客参加型の人形劇ツアード。				※コロナウィルス感染拡大防止のため中止。延期公演のためのプロモーション動画を撮影し、公開した。
キ 初心者のための人形劇講座 修了記念公演(試演会)	こぐま座、やまびこ座初心者のための人形劇講座の合同発表公演。	11月11日	1	15	※コロナウィルス感染拡大防止のため中止。試演会をこぐま座で実施した。
ク 幼児のためのちいさな劇場	就園前の2歳以上を対象にした平日公演。上演時間を45分程度に短くし、小さな子でも楽しめる内容を上演。	8月19.20	2	31	
ケ 「夏休み」「冬休み」「春休み」公演	学校の長期休みに合わせ、人形劇等の連続公演など、イベントを含めた公演を企画。 ※(1)～ア「一般公演」に含む。				
コ ゴールデンウイーク企画 こどもの日 バペットフェスティバル	人形劇等の連続公演、あそびのイベントを実施。東日本大震災チャリティー公演とし、入場料は全額支援活動費とする。				※コロナウィルス感染拡大防止のため中止
サ おそらく人形劇場 (あおぞらキッズシアター、ほしづらキッズシアター)	新型コロナウィルスにより、劇場で人形劇を見てもらうことができないため、野外で密になるのを防ぎながら人形劇を楽しんでもらうため実施。	8月11.12	4	73	8月29、9月19、20、23にも実施予定だったが、コロナウィルス感染拡大のため中止
シ こぐま座秋の特別公演	普段あまり観ることができない道外の専門劇を招聘し、特別公演を実施した。(総合工作芸術家だるま森+えりこ)	10月23.24	3	117	
ス 第50回札幌人形劇祭	人形劇の質的向上を目指し、道内で活動している人形劇団によるコンクール形式の連続公演。経験豊かな審査員と観客によって審査が実施された。	1月8～10日			※やまびこ座にて上演
セ パペットユーススクール 発表会	中高生のための人形劇スクールの発表公演。	12月26日			※やまびこ座にて上演
ソ こぐま座こども人形劇団発表会	1年を通して活動してきた『こども人形劇団』の修了発表公演。	3月5日	1	37	
タ こぐま座春の特別公演	普段あまり観ことができない道外の専門劇さんを招聘し、特別公演を実施した。(人形劇団ココン)	3月29.30	2	87	
合 計				142	4,282

(2)各種講座等の育成事業

区分	実施内容	実施日	回数等	参加人数	備考
ア 初心者のための人形劇講座	人形劇の楽しさを知つてもらうことにより、周知の拡大を図り、人形劇人の育成、グループ活動の推進また、こぐま座、やまびこ座、両劇場の公演活動の活性化を図る。	4月15日～11月11日	昼コース (やまびこ座) 18 夜コース (こぐま座) 16	225	※コロナウイルス感染拡大防止のため休館となった期間はリモートで開催した。(各コース4回実施)
イ 経験者のための人形劇クリニック	各劇団に対し、講座、公演の機会を設定し人形劇活動を支援し、人形劇人の育成、グループ活動の推進を図る。	10月13日～3月30日	全21回 (内2回自主)	161	※やまびこ座で実施
ウ 腹話術初心者入門講座	腹話術の基本を学び、興味へのきっかけとした入門講座。				※コロナウイルス感染拡大防止のため中止
合 計				386	

(3)子どもの舞台表現活動の推進

区分	実施内容	実施日	回数等	参加人数	備考
ア こぐま座こども人形劇団	市内の小学校3年生から6年生を対象に、人形劇を通して、様々な表現活動を展開。子どもたちならではの作品づくりを行った。	7月14日～3月5日	38	302	
イ パペットユーススクール	中高生のための人形劇スクール。中高生の受け入れの場として開講し、中高生劇団の育成を目指した。	7月20日～3月21日	28	447	
合 計				749	

(4)中島児童会館との協働事業

区分	実施内容	実施日	回数等	参加人数	備考
ア ゴールデンウイーク企画 こどもの日 パペットフェスティバル	人形劇等の連続公演、あそびのイベントを実施。東日本大震災チャリティー公演とし、入場料は全額支援活動費とする。				※コロナウイルス感染拡大防止のため中止
イ こぐま座45周年特別企画 みんなでアート	こぐま座45周年をお祝いしてペニヤ板に好きな絵を描いていただき、完成した絵はこぐま座の客席や正面玄関に展示した。	7月17日	1	32	
ウ こぐま座45周年特別企画 脱出ゲーム～こぐまちゃんからの挑戦状～	小学生を対象に体験ワークショップを実施。こぐま座、中島児童会館、中島公園を使って、劇仕立ての謎解き体験ツアーを行った。	7月18日	1	42	
エ こどものまなび塾	中島児童会館と協働し、子どもに携わる方々に向け、子どもとかかわること、遊びあうことを学ぶボランティア講座を実施。	第1期:8月27日～28日 第2期:10月14日～15日 10月19日～20日 第4期:11月4日～7日	10	242	※コロナウイルス感染拡大防止のため、第1期の27日～28日はリモート開催。第1期最終日と第3期は中止
オ こどものまなび塾特別企画 あそびのお店 開店！	まなび塾4期の受講者が、講師の方と一緒に「あそびのお店」を計画、実行した企画。	11月7日	1	148	
カ こども文化セミナー	絵本作家等を講師としてお迎えし、大人を対象とした児童文化に関わる講演会を実施した。講師:ひだのかなよさん	7月30日	1	31	※2月13日にも実施予定だったが、コロナウイルス感染拡大防止のため中止
キ 特別ワークショップ	こぐま座歴史資料室「MA・SO・BO」の65/美術館での原画展開催期間に合わせて、絵本作家の方を講師に招き、ワークショップを実施。そのほか特別公演で来訪した劇団の方によるワークショップも実施した。	10月17.23 3月5日	4	91	
ク あそびの劇場 なぞときゲーム ～こぐまちゃんを助けろ～	中島児童会館と連携し、小学生を対象に体験ワークショップを実施。こぐま座、中島児童会館、中島公園を使って体験型の謎解きツアーを行った。	1月12日	1	30	
ケ 資料室MA・SO・BO おはなしの会	資料室「MA・SO・BO」を活用し、資料室を広く市民に周知し、両施設に足を運んでもらうことを目的に幼児親子を対象したサロンを実施。	4月14日～3月23日	12	134	
合 計				750	

(5) 地域、他団体との交流事業

区分	実施内容	実施日	回数等	参加人数	備考
ア 中島児童会館・こぐま座 開館記念祭 かもくま祭ミニ 前夜祭×ほしざらキッズシアター 本祭×あおぞらキッズシアター	中島児童会館との協働事業。共に7月の開館記念日をお祝いし、普段両施設を利用している団体やボランティアスタッフの協力のもと、ステージや遊びのコーナーを設け、市民を対象に2施設の特徴を活かした祭を実施。				※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
イ アウトリーチ事業 資生館小学校	劇場の機能やノウハウを生かし、地域に向けて発信するアウトリーチ事業によって、人形劇を通して、子どもたちのコミュニケーション能力の構築を目指した。小学4年生の総合学習の一環として実施。	10月1日、6日	2	140	
ウ こぐま座45周年特別公演 児童会館特別公演	学校の長期休みに合わせて、普段あまり観ることができない道内外の専門劇団を招聘し児童会館にて特別公演を実施。(茶問屋ショーゴ他)	7月15.16.24.26.27 10月21.22.23.24	9	467	
エ 応援☆人形劇おでかけ公演＆舞台体験 WS～がんばろう子どもたち！ 児童会館編～	児童会館へ札幌の人形劇団やアーティストが出向き、人形劇等の公演および体験ワークショップを実施することで、札幌の子どもたちへのストレスを少しでも和らげ、心の栄養と笑顔を届けるべく実施。	11月～1月	23	1,380	
オ 冬の野外劇場	野外人形劇をとおして、市民の方々へ中島児童会館・こぐま座を知っていたくとともに、日頃から中島児童会館・こぐま座で活動している子どもたちの活動の発表の場とする。雪の舞台での野外公演を、札幌スタイルとして定番化する冬の文化情勢を目指す。				※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
合 計				1,987	

(6) その他

区分	実施内容	実施日	回数等	参加人数	備考
ア 人形劇公演観劇 スタンプラリー	スタンプカードを発行し、観劇ごとにスタンプを押印、回数によって指人形プレゼントなどの特典がある。観客者の新規開拓、リピーターの増加をねらい、人形劇団と協働しながら企画実践を図り、上演活動の活性化につなげる。	4月1日～3月31日		1,871	やまとこ座と合同で開催 (※参加人数=カード発行枚数)
イ 指人形ボランティア	こぐま座「指人形ボランティア」の方々が月に1回集まり、スタンプラリーの景品である指人形や販売用の指人形を制作した。コロナウイルスの感染拡大による休館期間は自宅で行える作業を行った。	4月20日～3月25日	9	50	
ウ 資料室MA・SO・BO	資料室を利用してもらうことにより、札幌に中島児童会館とこぐま座という歴史的価値の高い子どもための施設が存在することを市民に広めることを目的に、季節ごとのあそびや工作などを提供した。	4月1日～3月31日	219	5,980	※コロナウイルス感染拡大防止のため5/3～7/11、8/28～9/30臨時休館
資料室MA・SO・BO 657美術館 絵本原画展	資料室MA・SO・BO 657美術館にて、様々な絵本作家の絵本原画を展示した。 (ひだのかなよさん、あべ弘士さん、かとうまふみさん)	①7月12日～31日 ②8月3日～26日 10月1日～31日 ③3月1日～31日	3	2,661	※コロナウイルス感染拡大防止のため5/3～7/11、8/28～9/30の期間は中止
エ 利用者説明会	こぐま座の利用団体と共に、次年度の事業等の説明や、上演活動について意見交換を行ない、人形劇場の活性化につなげる。	3月23日	1	9	
合 計				10,571	

令和3年度 自主事業(物品販売事業)報告書

	販売物品	単価(円)	販売数(個)	計(円)
1	手づくりおもちゃ (たけとんぼ)	200	0	0
2	やまびこ座・こぐま座との会製品 (ハンドパペット)	150	0	0
3	やまびこ座・こぐま座との会製品 (ハンドパペット)	400	0	0
4	やまびこ座・こぐま座との会製品 (ハンドパペット)	500	0	0
5	やまびこ座・こぐま座との会製品 (ハンドパペット)	600	0	0
6	やまびこ座・こぐま座との会製品 (ハンドパペット)	700	0	0
7	やまびこ座・こぐま座との会製品 (王子パペット)	900	0	0
8	やまびこ座・こぐま座との会製品 (こぐまパペット)	700	0	0
9	30th指人形	400	0	0
10	やまびこ座・こぐま座との会製品 (はらぺこ青虫くん)	600	14	8,400
11	やまびこ座・こぐま座との会製品 (ととけっこ)	600	0	0
12	やまびこ座・こぐま座との会製品 (指人形)	500	6	3,000
13	やまびこ座・こぐま座との会製品 (ハンドパペットキッ	150	0	0
14	オリジナル商品 (ポストカード)	50	7	350
15	オリジナル商品 (シール)	50	1	50
16	オリジナル商品 (ミニタオル)	200	1	200
17	オリジナル商品 (王子ピンバッジ)	350	2	700
18	オリジナル商品 (こぐまピンバッジ)	350	0	0
19	オリジナル商品 (王子ストラップ)	350	3	1,050
20	オリジナル商品 (こぐまストラップ)	350	3	1,050
21	オリジナル商品 (40thクリアファイル)	200	6	1,200
22	オリジナル商品 (30thクリアファイル)	200	4	800
23	オリジナル商品 (40thてぬぐい)	500	1	500
24	オリジナル商品 (30thてぬぐい)	500	3	1,500
25	フェルトブローチ	200	26	5,200
26	缶バッジ(大)	200	0	0
27	缶バッジ(小)	100	6	600
28	フェルト小物	300	13	3,900
29	ガチャポン	200	98	19,600
30	ガチャポン	100	75	7,500
31	コットントート	500	4	2,000
32	エコバック	700	2	1,400
33	オリジナル商品 (書籍)	1,785	0	0
合 計			275	59,000

令和3年 物品販売事業
充実績報告書

観客用アンケート集計用紙 (札幌市こども人形劇場こぐま座)

○実施期間	令和3年4月～令和4年3月					
○公演回数	147回					
○アンケート回収枚数	1160枚 (1公演平均回収枚数: 7.9枚)					
○アンケート回答者について						
1)年齢	①0～5歳 ⑤41～60歳	913人 471人	②6～12歳 ⑥61歳以上	369人 127人	③13～19歳	59人
2)公演周知方法	①広報さっぽろ ⑤友人・知人 ⑨メール通信	16人 174人 0人	②劇場通信 ⑥はがき等 ⑩その他	161人 0人 134人	③劇場HP ⑦チラシ ポスター (公園で)	420人 105人 30人
3)こぐま座・やまびこ座への来館回数	①はじめて ④11回以上	369人 183人	②2～5回	359人	③6～10回	138人
○劇を見る環境について						
1)職員の対応や説明はいかがでしたか？	平均 4.5点					
①とても良い(5点) ④あまりよくない(2点)	610人 2人	②良い(4点) ⑤悪い(1点)	343人 1人	③ふつう(3点) ⑥無記入(0点)	53人 26人	
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・とても笑顔で対応してくれた。 ・職員がやさしかった。 ・親切だった。 ・説明がわかりやすかった。 ・スタッフの皆さんが丁寧で優しかった。 ・子どもに対して優しくてよかったです。 ・いつも丁寧 ・初めて利用したけど、丁寧で優しかった。 					
2)劇場の設備はいかがでしたか？	平均 4.3点					
①とても良い(5点) ④あまりよくない(2点)	427人 5人	②良い(4点) ⑤悪い(1点)	388人 0人	③ふつう(3点) ⑥無記入(0点)	142人 29人	
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・クーラーがあつてよかったです。 ・照明もとてもよかったです。 ・アットホームで居心地がよかったです。 ・建物と古い人形劇のイメージ合っていた。 ・小さめの劇場なので見やすかったです。 ・ステージまでの距離感が子どもにちょうど良い 					
3)観劇のマナーはいかがでしたか？	平均 4.3点					
①とても良い(5点) ④あまりよくない(2点)	460人 11人	②良い(4点) ⑤悪い(1点)	375人 3人	③ふつう(3点) ⑥無記入(0点)	112人 36人	
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・クーラーが効いていてよかったです。 ・少し寒かったです。 ・涼しくてよかったです。 ・換気のために、窓が開いていて雑音が聞こえた。 ・中島公園という場所が便利 ・座布団がアットホームでよかったです。 ・室温がちょうどよかったです。 ・明る過ぎず、暗すぎずちょうどよかったです。 ・換気がしっかりとされていて安心して観れた。 ・席が離れていてよかったです。 					
4)その他、劇場への要望・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・市外の出張劇があつたらいいなと思いました。(長沼町) ・駐車場が使用できるとありがたい。 ・劇の対象年齢があると嬉しいです。 					
○おしゃいのご感想						
	<ul style="list-style-type: none"> ・人形の動きが活き活きとしていて素晴らしい。 ・素敵な世界観があつて、また見たいと思った。 ・最初から最後まで飽きない工夫がされていて良かった。 ・大人も楽しめてほっこりしました。 ・大人と子どもが楽しめる劇でした。 ・子どもたちも真剣に見ていて良かったです。 ・子どもが参加できる流れになっていて、楽しめました。 ・人形劇の照明がきれいだった。 ・子どもが予想以上に喜んでいました。連れて来て良い ・20年以上ぶりに見ましたが、とても楽しかった。 ・紙芝居も人形劇も色々な工夫があって楽しかったで 					
○どんなお芝居がみたいですか	<ul style="list-style-type: none"> ・日本昔ばなし ・影絵 ・季節に合わせた芝居 ・古事記/神話 ・北海道にゆかりのあるお話し ・参加型のお芝居がみたい。 					

令和3年度利用者（劇団）アンケート集計

○支援体制について

1) お芝居を創っていくまでの施設の環境整備などはいかがですか

平均 4.6 点					
①とても良い（5点）	13人	②良い（4点）	10人	③ふつう（3点）	0人
④あまりよくない（2点）	0人	⑤悪い（1点）	0人	⑥無記（0点）	0人

理由

- マイク、音響が助かった
- 初めての機材でも親切に使い方を教えてくれます
- 道具もそろっている
- 演技がやりやすかった

2) お芝居を創っていくまでの劇場のサポート（指導助言・広報・劇団支援事業等）はいかがですか

平均 4.7 点					
①とても良い（5点）	15人	②良い（4点）	8人	③ふつう（3点）	0人
④あまりよくない（2点）	0人	⑤悪い（1点）	0人	⑥無記（0点）	0人

理由

- スタッフ、場所、道具がそろっている点何も
- やさしくて親切です
- 準備が出来しやすかった
- 工作室があり充実のスタッフ
- サポートなければ何もできない

○施設サービスについて

1) 施設や設備の利用のしやすさはいかがですか

平均 4.3 点					
①とても良い（5点）	11人	②良い（4点）	11人	③ふつう（3点）	0人
④あまりよくない（2点）	0人	⑤悪い（1点）	1人	⑥無記（0点）	0人

理由

- トイレの便座があたたかいといい
- 演技がやりやすい
- 舞台が全体的に狭い
- 座る場所を決めてくれた
- 今回は劇場での練習のみでしたが、他の場所でけいこする時など予約がしやすいとありがたい

人形

2) 職員の対応や説明はいかがでしたか

平均 4.8 点					
①とても良い（5点）	18人	②良い（4点）	5人	③ふつう（3点）	0人
④あまりよくない（2点）	0人	⑤悪い（1点）	0人	⑥無記（0点）	0人

理由

- 親切に対応された
- 音響操作がにてなので丁寧な指導がよい
- 演技がしやすかった
- ポスター、チケットなどもう少し前に忘れていたので教えてもらえると助かる

3) 利用申し込みや手続きの仕方はいかがですか

平均 4.4 点					
①とても便利（5点）	13人	②やや便利（4点）	4人	③ふつう（3点）	5人
④やや不便（2点）	0人	⑤とても不便（1点）	0人	⑥無記（0点）	0人

理由

4) その他、劇場へのご要望・ご意見がございましたらお書きください

- 館長が気さくで相談しやすい
- トイレが節水タイプだといいと思う
- 座席はやまびこ座レベルがほしい

自主事業参加者アンケート集計用紙 (札幌市こども人形劇場こぐま座)

○実施期間 令和3年4月～令和4年3月 <こぐま座こども人形劇団>

○アンケート回収枚数 8 枚

○アンケート回答者について

1)性別 ①女性 5 人 ②男性 3 人

2)事業の周知方法 ①広報さっぽろ 人 ②劇場通信 人 ③劇場HP 人 ④新聞・報道 人
⑤友人・知人 1 人 ⑥はがき等 人 ポスター 1 人 ⑧その他 1 人

3)こぐま座・やまびこ座での事業参加回数 ①はじめて 1 人 ②2～5回 1 人 ③6回以上 1 人

○プログラムについて

1)今回の事業のプログラムの内容はいかがでしたか?

平均 4.4 点

①とても良い(5点) 5 人 ②良い(4点) 1 人 ③ふつう(3点) 2 人
④あまりよくない(2点) 0 人 ⑤悪い(1点) 0 人 ⑥無記(0点) 0 人

理由

- 最後にこのメンバーでできて、とても楽しくできた。
- ちゃんと劇祭などもやれたのでよかったです。
- 少し緊張した
- 楽しかった
- すごくとか、傑作とかじゃなく、まあまあ出来た
- 劇祭のためにみんなで協力してできたのがよかったです

2)事業を担当した講師はいかがでしたか?

平均 5.0 点

①とても良い(5点) 8 人 ②良い(4点) 0 人 ③ふつう(3点) 0 人
④あまりよくない(2点) 0 人 ⑤悪い(1点) 0 人 ⑥無記(0点) 0 人

理由

- 分かりやすく説明してくれたり、やさしくわからない所を教えてくれた
- 話しやすくてとてもよかったです
- やさしく教えてくれるし、アドバイスもしてくれるから

3)今後、どのような講座に参加してみたいですか?

•楽器といっしょにやりたい •演劇(バベットユース)
•野外人形劇
•ふれあーと

4)受講料(参加料)について ①高い 人 ②ちょうどよい 4 人 ③安い 1 人

○施設サービスについて

1)職員の対応や説明はいかがでしたか?

平均 4.4 点

①とても良い(5点) 4 人 ②良い(4点) 2 人 ③ふつう(3点) 1 人
④あまりよくない(2点) 0 人 ⑤悪い(1点) 0 人 ⑥無記(0点) 0 人

理由

- 練習の時にやさしく分かりやすく教えてくれたから
- やさしく接してくれた
- 途中で笑顔で見てくれたり、教えてくれてよかったです
- 必要なことだけ教えてくれたから
- やさしく話してくれるから

2)施設や設備の利用のしやすさはいかがですか?

平均 4.3 点

①とても良い(5点) 3 人 ②良い(4点) 3 人 ③ふつう(3点) 1 人
④あまりよくない(2点) 人 ⑤悪い(1点) 人 ⑥無記(0点) 人

理由

- なれていてわかりやすかったから
- ライトが明るすぎた
- いろんな道具が使えてよかったです
- 少しさむかった
- 少し古いから、もう少し新しくしてほしいから

4)その他、劇場へのご要望・ご意見がございましたらお書きください。

•トイレを新しくしてほしい

自主事業参加者アンケート集計用紙 (札幌市こども人形劇場こぐま座)

○実施期間 令和3年7月31日

<MASOBO:こども文化セミナー【ひだのかな代】>

○アンケート回収枚数 12 枚

○アンケート回答者について

1) 性別 ①女性 9 人 ②男性 0 人

2) 事業の周知方法 ①広報さっぽろ 0 人 ②劇場通信 2 人 ③劇場HP 0 人 ④新聞・報道 1 人
⑤友人・知人 3 人 ⑥はがき等 0 人 ポスター 2 人 ⑦ナフン 2 人 ⑧その他 2 人

3) こぐま座・やまびこ座での事業参加回数 ①はじめて 1 人 ②2~5回 5 人 ③6回以上 4 人

○プログラムについて

1) 今回の事業のプログラムの内容はいかがでしたか?

平均 4.9 点

①とても良い(5点) 11 人 ②良い(4点) 1 人 ③ふつう(3点) 0 人
④あまりよくない(2点) 0 人 ⑤悪い(1点) 0 人 ⑥無記(0点) 0 人

理由
・動物の成長、環境など多岐に渡り、新たな知識を得ることができ、楽しいひと時であった。
・たくさんの絵本に触れることができ、絵本作家の方の絵本に対する以降が伝わってきた。
・作品の紹介・朗読を通して、ひだのさんご自身の生き方に強く惹かれました。
・ご本人に読み語りしていただけた幸せな時間でした。

2) 事業を担当した講師はいかがでしたか?

平均 4.8 点

①とても良い(5点) 9 人 ②良い(4点) 2 人 ③ふつう(3点) 0 人
④あまりよくない(2点) 0 人 ⑤悪い(1点) 0 人 ⑥無記(0点) 0 人

理由
・親しみがもてる語り口で出版界の裏話を聞くことができ、興味深かった。
・話がわかりやすく、たくさんの絵本を読んでくれて楽しく参加できた。
・お話し、とても聞きやすく、最後のクイズまで楽しかった。

3) 今後、どのような講座に参加してみたいですか?

・大人も参加できるWS。
・絵本作家のお話。
・人形劇、紙芝居の講座。

4) 受講料(参加料)について

①高い 0 人 ②ちょうどよし 10 人 ③安い 0 人

○施設サービスについて

1) 職員の対応や説明はいかがでしたか?

平均 4.5 点

①とても良い(5点) 6 人 ②良い(4点) 5 人 ③ふつう(3点) 0 人
④あまりよくない(2点) 0 人 ⑤悪い(1点) 0 人 ⑥無記(0点) 0 人

理由
・笑顔で対応してくれている。

2) 施設や設備の利用のしやすさはいかがですか?

平均 4.1 点

①とても良い(5点) 2 人 ②良い(4点) 6 人 ③ふつう(3点) 1 人
④あまりよくない(2点) 0 人 ⑤悪い(1点) 0 人 ⑥無記(0点) 0 人

理由
・暑さ対策をしっかりしてくれていた。

4) その他、劇場へのご要望・ご意見がございましたらお書きください。

・いつもいろいろな事業をありがとうございます。

自主事業参加者アンケート集計用紙 (札幌市こども人形劇場こぐま座)

○実施期間 令和3年8月27~28日 <子どものまなび塾第Ⅰ期>

○アンケート回収枚数 16枚

○アンケート回答者について

1) 性別 ①女性 12人 ②男性 4人

2) 事業の周知方法 ①広報さっぽろ 0人 ②劇場通信 1人 ③劇場HP 0人 ④新聞・報道 0人
⑤友人・知人 0人 ⑥はがき等 0人 ポスター 1人 ⑧その他 10人

3) こぐま座・やまびこ座での事業参加回数 ①はじめて 3人 ②2~5回 8人 ③6回以上 2人

○プログラムについて

1) 今回の事業のプログラムの内容はいかがでしたか?

平均 4.9 点

①とても良い(5点) 15人 ②良い(4点) 1人 ③ふつう(3点) 0人
④あまりよくない(2点) 0人 ⑤悪い(1点) 0人 ⑥無記(0点) 0人

理由
・コロナの影響でリモートであったが、すぐに役立つ内容で良かったです。
・けん玉もいつもと違う遊び方であったので「できる・できない」ではなく「楽しい」遊びだと知った。
・けん玉を継続させて遊ばせることを考えていたが、そもそも「遊びとは何か」考え直すことができた。
・普段聞かない内容であったため、とても参考になりました。
・けん玉のルールや技の練習をしておかない、と思っていましたが誰もが遊べるけん玉を知ることができ勉強になりました。
・遊びに先入観を持たない。みんな同じ土俵で遊ぶなど、遊びの自主性 とても勉強になりました。

2) 事業を担当した講師はいかがでしたか?

平均 4.9 点

①とても良い(5点) 14人 ②良い(4点) 1人 ③ふつう(3点) 0人
④あまりよくない(2点) 0人 ⑤悪い(1点) 0人 ⑥無記(0点) 0人

理由
・遊びで大事なことを分かりやすく伝えていただき、人としても魅力的でとても良かったです。
・講座の内容、進行など分かりやすくてスムーズだった。まったく、けん玉ができるなく不安であったが楽しめる内容だった。
・表情、話し方、内容のすべてが素晴らしい講師の方でした。
・発想が柔軟で楽しい。話に引き込まれました。
・体験談などを交え、分かりやすい講義だった。また、ぜひ受けたいです。
・他の方にも進めたい講義だった。

3) 今後、どのような講座に参加してみたいですか?

・子どもや大人の心に寄り添つことを学べる講座
・大人の発達障害を知る講座
・体験型講座・自然を使ったプログラムやネイチャーゲーム
・非認知能力の伸ばし方(読み・書きなど数値では測れない、社交性・社会性など)
・伝統的な遊びの講座(けん玉以外・コマ・折り紙など)
・雪遊びの講座

4) 受講料(参加料)について ①高い 0人 ②ちょうどよい 3人 ③安い 1人

○施設サービスについて

1) 職員の対応や説明はいかがでしたか?

平均 4.9 点

①とても良い(5点) 8人 ②良い(4点) 1人 ③ふつう(3点) 0人
④あまりよくない(2点) 0人 ⑤悪い(1点) 0人 ⑥無記(0点) 0人

理由
・Zoomでの講座で、直接対応されていないため、わかりません。
・分かりやすい進行でした。
・楽しめました。諸々準備等ありがとうございます。

2) 施設や設備の利用のしやすさはいかがですか?

平均 4.6 点

①とても良い(5点) 3人 ②良い(4点) 2人 ③ふつう(3点) 0人
④あまりよくない(2点) 0人 ⑤悪い(1点) 0人 ⑥無記(0点) 0人

理由
・Zoomのため、利用なし

4) その他、劇場へのご要望・ご意見がございましたらお書きください。

自主事業参加者アンケート集計用紙 (札幌市こども人形劇場こぐま座)

○実施期間 令和3年10月14.15.19.20日 <こどものまなび塾第Ⅱ期>

○アンケート回収枚数 26 枚

○アンケート回答者について

1)性別 ①女性 21 人 ②男性 3 人

2)事業の周知方法 ①広報さっぽろ 1 人 ②劇場通信 1 人 ③劇場HP 1 人 ④新聞・報道 1 人
⑤友人・知人 1 人 ⑥はがき等 0 人 ポスター 3 人 ⑧その他 13 人

3)こぐま座・やまびこ座での事業参加回数 ①はじめて 9 人 ②2~5回 9 人 ③6回以上 2 人

○プログラムについて

1)今回の事業のプログラムの内容はいかがでしたか?

平均 4.7 点

①とても良い(5点) 17 人 ②良い(4点) 9 人 ③ふつう(3点) 0 人
④あまりよくない(2点) 0 人 ⑤悪い(1点) 0 人 ⑥無記(0点) 0 人

理由
•実際に仕事で利用できる内容だった。・パネルシアターの難しさと楽しさ、奥深さを知りました。・演じるポイントを知ることができた。
•子ども達が飽きないようにすることが大事なことだと分かった。
・パネルシアター等、保護者の医いる前でやるのが恥ずかしいと思っていたので、とても勉強になりました。
・実演を交えて解説を定年移してくださいましたので良かったです。
・パネルシアター、読み聞かせなど実際に触れたり見て良かった。どちらも興味深いと思いました。

2)事業を担当した講師はいかがでしたか?

平均 4.8 点

①とても良い(5点) 20 人 ②良い(4点) 6 人 ③ふつう(3点) 0 人
④あまりよくない(2点) 0 人 ⑤悪い(1点) 0 人 ⑥無記(0点) 0 人

理由
•具体的なアドバイスをもらえて良かったです。
•今、困っている事や今までやってきて気が付かなかった事など聞けて良かった。
•プロはすごいと思った。
・パネルシアター、読み聞かせとともに分かりやすく楽しかったです。

3)今後、どのような講座に参加してみたいですか?

•子どもを引き付ける話し方。
•人形劇
•お絵かき、工作の講座(手作り工作)

4)受講料(参加料)について

①高い 0 人 ②ちょうどよい 10 人 ③安い 1 人

○施設サービスについて

1)職員の対応や説明はいかがでしたか?

平均 4.8 点

①とても良い(5点) 19 人 ②良い(4点) 6 人 ③ふつう(3点) 0 人
④あまりよくない(2点) 0 人 ⑤悪い(1点) 0 人 ⑥無記(0点) 0 人

理由
•お願いしたことを快く引き受けってくれました。
・挨拶が良かった。
・丁寧で分かりやすかったです。
・入口の誘導や受付など丁寧だった。
・とても感じが良くありがたかったです。

2)施設や設備の利用のしやすさはいかがですか?

平均 4.3 点

①とても良い(5点) 13 人 ②良い(4点) 6 人 ③ふつう(3点) 6 人
④あまりよくない(2点) 0 人 ⑤悪い(1点) 0 人 ⑥無記(0点) 0 人

理由
•トイレの扉がないのが気になりました。
・少し古い感じがします。
・駐車場がないため少し不便であった。
・地下鉄から近く、利用しやすかったです。
・図書室が暖かくて良かった。また、たくさん本があって素晴らしい。

4)その他、劇場へのご要望・ご意見がございましたらお書きください。

•コロナ禍で大変だと思いますが頑張ってください。
•やまびこ座、こぐま座で観劇したことがないので、時間を作って見たいと思います。
•メモを取りたかったので、2~4日目も机が欲しかった。
•高齢者も楽しめる作品紹介をしていただけると良いです。

自主事業参加者アンケート集計用紙 (札幌市こども人形劇場こぐま座)

○実施期間 令和3年11月4~7日 <こどものまなび塾4期(あそびのお店)>

○アンケート回収枚数 21枚

○アンケート回答者について

1)性別 ①女性 20人 ②男性 1人

2)事業の周知方法 ①広報さっぽろ 1人 ②劇場通信 3人 ③劇場HP 1人 ④新聞・報道 人
⑤友人・知人 人 ⑥はがき等 1人 ポスター 3人 ⑧その他 9人

3)こぐま座・やまびこ座での事業参加回数 ①はじめて 5人 ②2~5回 8人 ③6回以上 4人

○プログラムについて

1)今回の事業のプログラムの内容はいかがでしたか?

平均 4.8 点

①とても良い(5点) 17人 ②良い(4点) 4人 ③ふつう(3点) 人
④あまりよくない(2点) 人 ⑤悪い(1点) 人 ⑥無記(0点) 人

理由
•アイデア豊富な皆さんと一緒にいろいろできました
•知らない初めましての人とアイデアを出し、この短期間で1つのことを作り上げられた達成感
•4日間という期間に集中してやれた
•実際に自分で考えて作るという実践的なことは自身のためにになりましたし経験知識もプラスになりました
•子どもたちと直接関わることができた
•当日各店を回れる時間を作ってほしい
•新しいアイデアをもらえた
•色々な工作や遊び方が学べた

2)事業を担当した講師はいかがでしたか?

平均 4.9 点

①とても良い(5点) 18人 ②良い(4点) 3人 ③ふつう(3点) 0人
④あまりよくない(2点) 0人 ⑤悪い(1点) 0人 ⑥無記(0点) 0人

理由
•すごくアイデアがたくさんで、もっと工作のことも聞きたかった
•もっといろいろ学びたいと思った
•ユーモアがあり分かりやすい
•講師の工作スキルの高さ
•すごくこんな感じでやつてたなどこたえてくれもっと聞きたかった
•様々な引き出しがあり学びが多くった
•話題やすかった
•分かりやすく自身も楽しんでおられる様子がよかったです

3)今後、どのような講座に参加してみたいですか?

•読み聞かせ、人形劇
•工作会、外プログラム(夏・冬)
•今回と同様の講座
•心理学等

4)受講料(参加料)について

①高い 1人 ②ちょうどよい 12人 ③安い 1人

○施設サービスについて

1)職員の対応や説明はいかがでしたか?

平均 4.9 点

①とても良い(5点) 17人 ②良い(4点) 3人 ③ふつう(3点) 0人
④あまりよくない(2点) 0人 ⑤悪い(1点) 0人 ⑥無記(0点) 0人

理由
•何を聞いても頗んでも常に即答否定語を使わない
•いつも笑顔
•わからぬことをすぐこたえてくれた
•丁寧な対応をいたしました
•準備の手伝いをしてもらえた
•わかりやすく楽々色々教えてもらえた
•聞けたことに対して真摯に説明してくれた
•皆さん親切だった

2)施設や設備の利用のしやすさはいかがですか?

平均 4.5 点

①とても良い(5点) 13人 ②良い(4点) 7人 ③ふつう(3点) 0人
④あまりよくない(2点) 1人 ⑤悪い(1点) 0人 ⑥無記(0点) 0人

理由
•なんでもふんだんにあってストレスゼロ
•紙が使い放題でびっくり
•床が暖かい
•トイレが広いともっとよい
•使いいいものを使用できる
•スペース・道具物品がたくさんあって良かった

4)その他、劇場へのご要望・ご意見がございましたらお書きください。

•今野先生の簡単工作教室をぜひ
•工作等をチーム全体が1つのストーリーになるような企画

自主事業参加者アンケート集計用紙 (札幌市こども人形劇場こぐま座)

○実施期間 令和3年10月17日 <MASOBO:子ども向けワークショップ【あべ弘士】>

○アンケート回収枚数 11 枚

○アンケート回答者について

1) 性別 ①女性 5 人 ②男性 4 人

2) 事業の周知方法 ①広報さっぽろ 0 人 ②劇場通信 0 人 ③劇場HP 3 人 ④新聞・報道 0 人
⑤友人・知人 1 人 ⑥はがき等 0 人 ポスター 4 人 ⑧その他 2 人

3) こぐま座・やまびこ座での事業参加回数 ①はじめて 4 人 ②2~5回 3 人 ③6回以上 3 人

○プログラムについて

1) 今回の事業のプログラムの内容はいかがでしたか?

平均 4.9 点

①とても良い(5点) 10 人 ②良い(4点) 1 人 ③ふつう(3点) 0 人
④あまりよくない(2点) 0 人 ⑤悪い(1点) 0 人 ⑥無記(0点) 0 人

理由
•作ったりするのが楽しかった
•絵の具で色を塗るのが楽しかった
•キリンの工作が楽しかった。
•頭の中で想像していく、色々なことができた。
•キリンのかたちが分かったし、工作が楽しかった。

2) 事業を担当した講師はいかがでしたか?

平均 4.9 点

①とても良い(5点) 10 人 ②良い(4点) 1 人 ③ふつう(3点) 0 人
④あまりよくない(2点) 0 人 ⑤悪い(1点) 0 人 ⑥無記(0点) 0 人

理由
•やさしかった
•教えてくれる人が分かりやすかった
•教えてくれる人が分かりやすかった絵本の話も聞きたかった

3) 今後、どのような講座に参加してみたいですか?

•工作行事(キリン以外の他の動物)
•星座の話
•絵の描き方

4) 受講料(参加料)について

①高い 0 人 ②ちょうどよい 6 人 ③安い 5 人

○施設サービスについて

1) 職員の対応や説明はいかがでしたか?

平均 5.0 点

①とても良い(5点) 11 人 ②良い(4点) 0 人 ③ふつう(3点) 0 人
④あまりよくない(2点) 0 人 ⑤悪い(1点) 0 人 ⑥無記(0点) 0 人

理由
•とても感じの良い人が多い。 •優しく話を聞いてくれた。
•テープを持ってきてくれたり親切だった
•笑顔だった。 •丁寧に接してくれた

。

2) 施設や設備の利用のしやすさはいかがですか?

平均 4.5 点

①とても良い(5点) 7 人 ②良い(4点) 3 人 ③ふつう(3点) 1 人
④あまりよくない(2点) 0 人 ⑤悪い(1点) 0 人 ⑥無記(0点) 0 人

理由
•板の上(ペニア)が敷いてあったので作業しやすかった
•広くて集中できた

4) その他、劇場へのご要望・ご意見がございましたらお書きください。

•もう少し、2才も参加できると良いなあと思います。
•工作や絵本作り

自主事業参加者アンケート集計用紙 (札幌市こども人形劇場こぐま座)

○実施期間 令和3年10月23日 <だるまのおもしろ楽器教室>

○アンケート回収枚数 16 枚

○アンケート回答者について

1) 性別 ①女性 10 人 ②男性 5 人

2) 事業の周知方法 ①広報さっぽろ 0 人 ②劇場通信 4 人 ③劇場HP 5 人 ④新聞・報道 人
⑤友人・知人 1 人 ⑥はがき等 0 人 ⑦チラシ ポスター 3 人 ⑧その他 4 人

3) こぐま座・やまびこ座での事業参加回数 ①はじめて 7 人 ②2~5回 1 人 ③6回以上 7 人

○プログラムについて

1) 今回の事業のプログラムの内容はいかがでしたか?

平均 4.6 点

①とても良い(5点) 12 人 ②良い(4点) 3 人 ③ふつう(3点) 0 人
④あまりよくない(2点) 1 人 ⑤悪い(1点) 0 人 ⑥無記(0点) 0 人

理由
・全部楽しかった。
・もっと楽器をつくりたかった。
・色をぬると作るの、音をならすのが楽しかった。
・ハルオングーパーの音がよかったです。きた人クイズもおもしろかったです。

2) 事業を担当した講師はいかがでしたか?

平均 4.7 点

①とても良い(5点) 11 人 ②良い(4点) 5 人 ③ふつう(3点) 0 人
④あまりよくない(2点) 0 人 ⑤悪い(1点) 0 人 ⑥無記(0点) 0 人

理由
・おもしろくてよかったです。
おしゃててくれてありがとう。
・絵をかくのが上手だった。

3) 今後、どのような講座に参加してみたいですか?

・マジックきょうしつ
・おりがみきょうしつ
・楽器づくり

4) 受講料(参加料)について

①高い 0 人 ②ちょうどよい 10 人 ③安い 4 人

○施設サービスについて

1) 職員の対応や説明はいかがでしたか?

平均 4.6 点

①とても良い(5点) 11 人 ②良い(4点) 4 人 ③ふつう(3点) 1 人
④あまりよくない(2点) 0 人 ⑤悪い(1点) 0 人 ⑥無記(0点) 0 人

理由
・よかったです。
・じょうずにおしゃててくれてよかったです。

2) 施設や設備の利用のしやすさはいかがですか?

平均 4.1 点

①とても良い(5点) 6 人 ②良い(4点) 4 人 ③ふつう(3点) 5 人
④あまりよくない(2点) 0 人 ⑤悪い(1点) 0 人 ⑥無記(0点) 0 人

理由
・つかいやすい。
・ひろくてよかったです。

4) その他、劇場へのご要望・ご意見がございましたらお書きください。

・つぎは、だるまの森さんのギターをつくりたい。
・参加方の劇がたのしいです。

自主事業参加者アンケート集計用紙 (札幌市こども人形劇場こぐま座)

○実施期間 令和4年3月5日

<かとうまふみ特別ワークショップ「指人形作り」>

○アンケート回収枚数 9 枚

○アンケート回答者について

1) 性別 ①女性 9 人 ②男性 0 人

2) 事業の周知方法 ①広報さっぽろ 0 人 ②劇場通信 0 人 ③劇場HP 0 人 ④新聞・報道 0 人
⑤友人・知人 2 人 ⑥はがき等 0 人 ポスター 1 人 ⑦その他 5 人

3) こぐま座・やまびこ座での事業参加回数 ①はじめて 2 人 ②2~5回 1 人 ③6回以上 1 人

○プログラムについて

1) 今回の事業のプログラムの内容はいかがでしたか?

平均 4.9 点

①とても良い(5点) 8 人 ②良い(4点) 1 人 ③ふつう(3点) 0 人
④あまりよくない(2点) 0 人 ⑤悪い(1点) 0 人 ⑥無記(0点) 0 人

理由

- 项目チャレンジする機会のない指人形作りがとても楽しかった。他の方の作品も素敵で見せて頂けるだけで感動した。
- タミング的に天国へ旅立ったネコになってしまい、他の人により暗い感じでしたが、家に帰ってもう1匹のネコが喜ぶと思う。
- コロナ禍における閉塞感の中でもゆっくりおしゃべりしながら、楽しいモノを作るというコンセプトに共感した。
- 大人になると無心で何ができる事がないので充実の時間だった。
- 作り手の個性が表れて楽しくできた。
- あこがれだったかとうまふみさんの人形がされた。
- 楽しみにしていた。考えていたとおりだった。
- ゆび人形作りが中心の満席ではありますが、もう少し講師の方の絵本についてのお話を聴きたかった。
- 絵本の読み聞かせも嬉しかった

2) 事業を担当した講師はいかがでしたか?

平均 5.0 点

①とても良い(5点) 9 人 ②良い(4点) 人 ③ふつう(3点) 0 人
④あまりよくない(2点) 0 人 ⑤悪い(1点) 0 人 ⑥無記(0点) 0 人

理由

- まふみさんの声掛けでなんとかできました。優しくありがとうございました。
- わかりやすくアドバイスもよかったです。
- 良いところをほめて、伸ばして下さるのがうれしかった。
- まるくてとても良い人だったので。
- やさしくて、創造性に富んでいました。
- 絵本を読んでいたりしたのも、ただ作るより作家さんの人柄が伝わり良かったです。
- 絵本まで読んでくれて感動だった。
- 説明がわかりやすく、すぐに作事ができました。
- 参加者への声掛けや気配りを含めとても楽しく参加できた。

3) 今後、どのような講座に参加してみたいですか?

- まふみさんの手作り人形劇が見たい
- 手遊びワークショップがあれば参加したい
- 手作りもの
- 素材を変えたり、マリオネットなども作ってみたい
- 人形劇に関すること、人形劇のいろは
- 簡単な手作りの講座

4) 受講料(参加料)について

①高い 0 人 ②ちょうどよい 2 人 ③安い 3 人

○施設サービスについて

1) 職員の対応や説明はいかがでしたか?

平均 5.0 点

①とても良い(5点) 9 人 ②良い(4点) 人 ③ふつう(3点) 0 人
④あまりよくない(2点) 0 人 ⑤悪い(1点) 0 人 ⑥無記(0点) 0 人

理由

- みんな優しかった
- 各種な材料があり創造力が広がりました。準備ありがとうございました。
- 親切に会場に案内していただいた。
- とても親切
- みんな明るくハキハキしていてよかったです。

2) 施設や設備の利用のしやすさはいかがですか?

平均 4.3 点

①とても良い(5点) 4 人 ②良い(4点) 4 人 ③ふつう(3点) 1 人
④あまりよくない(2点) 0 人 ⑤悪い(1点) 0 人 ⑥無記(0点) 0 人

理由

- 工作しやすかった
- 地下鉄が近く来やすかった
- 素材や用具等、豊富に準備してあった
- 中島公園から近いし、道も作ってあった

4) その他、劇場へのご要望・ご意見がございましたらお書きください。

- 毎月でもあれば参加したい!
- 大人向けの講座も企画してくれたら嬉しい

自主事業参加者アンケート集計用紙 (札幌市こども人形劇場こぐま座)

○実施期間 令和4年3月5日

くかとうまふみ特別ワークショップ「巨大絵本作り」>

○アンケート回収枚数 8 枚

○アンケート回答者について

1) 性別 ①女性 _____ 6 人 ②男性 _____ 2 人

2) 事業の周知方法 ①広報さっぽろ _____ 0 人 ②劇場通信 _____ 0 人 ③劇場HP _____ 0 人 ④新聞・報道 _____ 1 人
⑤友人・知人 _____ 1 人 ⑥はがき等 _____ 0 人 ⑦チラシボスター _____ 5 人 ⑧その他 _____ 1 人

3) こぐま座・やまびこ座での事業参加回数 ①はじめて _____ 0 人 ②2~5回 _____ 6 人 ③6回以上 _____ 2 人

○プログラムについて

1) 今回の事業のプログラムの内容はいかがでしたか?

平均 5.0 点

①とても良い(5点) _____ 8 人 ②良い(4点) _____ 0 人 ③ふつう(3点) _____ 0 人
④あまりよくない(2点) _____ 0 人 ⑤悪い(1点) _____ 0 人 ⑥無記(0点) _____ 0 人

理由

- おもいつきりかけたから
- もっとやりたかった
- たくさん絵をかけてよかった
- もっと書いて本にしたかった
- 自分だけの絵をかけて楽しかった
- たのしかったことはどうづつをかいたこと
- かとうまふみさんがこんなにおもしろい人だとはおもわなかつた
- ひさしぶりにさんんにかいた!

2) 事業を担当した講師はいかがでしたか?

平均 5.0 点

①とても良い(5点) _____ 8 人 ②良い(4点) _____ 0 人 ③ふつう(3点) _____ 0 人
④あまりよくない(2点) _____ 0 人 ⑤悪い(1点) _____ 0 人 ⑥無記(0点) _____ 0 人

理由

- どういうふうにかいたらよいとかおしえてくれたから
- かわいいかった
- いろんなことをこうしたらいいよなどいってくれたこと
- 本があったから楽しかった
- こうようの本をかいたこと
- 先生たちがやさしかった
- ほめてくれた

3) 今後、どのような講座に参加してみたいですか?

- 絵をかく行事
- ミニえほん
- 何かを作ること
- 体育の行事
- どんなものでも

4) 受講料(参加料)について

①高い _____ 0 人 ②ちょうどよい _____ 2 人 ③安い _____ 5 人

○施設サービスについて

1) 職員の対応や説明はいかがでしたか?

平均 4.9 点

①とても良い(5点) _____ 7 人 ②良い(4点) _____ 1 人 ③ふつう(3点) _____ 0 人
④あまりよくない(2点) _____ 0 人 ⑤悪い(1点) _____ 0 人 ⑥無記(0点) _____ 0 人

理由

- 大きい紙を用意してくれたこと
- いろんな絵具をいたげたこと
- しっかりと対応してくれたところ
- しつもんしやすかった
- いけをかいたとこ
- わかりやすい

2) 施設や設備の利用のしやすさはいかがですか?

平均 5.0 点

①とても良い(5点) _____ 8 人 ②良い(4点) _____ 0 人 ③ふつう(3点) _____ 0 人
④あまりよくない(2点) _____ 0 人 ⑤悪い(1点) _____ 0 人 ⑥無記(0点) _____ 0 人

理由

- ひろいところ
- よこれてもだいじょうぶだった
- ゆきをかいたところ
- じゅうなところ

4) その他、劇場へのご要望・ご意見がございましたらお書きください。

- じめんに絵をかきたい
- えほんのよみきかせ
- 森をたんけんしたい
- しゃもじいさんの劇をしてほしい

自主事業参加者アンケート集計用紙 (札幌市こども人形劇場こぐま座)

○実施期間 令和3年4~11月11日

<初心者のための人形劇講座>

○アンケート回収枚数 _____ 5 枚

○アンケート回答者について

1)性別 ①女性 _____ 5 人 ②男性 _____ 0 人

2)事業の周知方法 ①広報さっぽろ _____ 1 人 ②劇場通信 _____ 2 人 ③劇場HP _____ 2 人 ④新聞・報道 _____ 2 人
⑤友人・知人 _____ 0 人 ⑥はがき等 _____ 0 人 ポスター _____ 0 人 ⑧その他 _____ 0 人

3)こぐま座・やまびこ座での事業参加回数 ①はじめて _____ 4 人 ②2~5回 _____ 1 人 ③6回以上 _____ 0 人

○プログラムについて

1)今回の事業のプログラムの内容はいかがでしたか?

平均 5.0 点

①とても良い(5点) _____ 5 人 ②良い(4点) _____ 0 人 ③ふつう(3点) _____ 0 人
④あまりよくない(2点) _____ 0 人 ⑤悪い(1点) _____ 0 人 ⑥無記(0点) _____ 0 人

理由
・毎回順々に進めてくれた無理のないプログラムだった、楽しい内容だった
・とても楽しかった、特に日曜日の活動が学祭準備のようわくわくした
・初めての体験ができた
・とても楽しく様々な学びができた

2)事業を担当した講師はいかがでしたか?

平均 5.0 点

①とても良い(5点) _____ 5 人 ②良い(4点) _____ 0 人 ③ふつう(3点) _____ 0 人
④あまりよくない(2点) _____ 0 人 ⑤悪い(1点) _____ 0 人 ⑥無記(0点) _____ 0 人

理由
・親切で説明の分かりやすかった、メンバーの思いを受け止めて良いものを作り上げようと関わってくれた
・親切で楽しくすごせた
・とてもわかりやすく丁寧でした

3)今後、どのような講座に参加してみたいですか?

・子供も大人も楽しめる講座など
・今回のような人形劇
・子どもにかかる内容に参加したい

4)受講料(参加料)について

①高い _____ 0 人 ②ちょうどよい _____ 4 人 ③安い _____ 1 人

○施設サービスについて

1)職員の対応や説明はいかがでしたか?

平均 5.0 点

①とても良い(5点) _____ 5 人 ②良い(4点) _____ 0 人 ③ふつう(3点) _____ 0 人
④あまりよくない(2点) _____ 0 人 ⑤悪い(1点) _____ 0 人 ⑥無記(0点) _____ 0 人

理由
・親切な対応でした毎回細やかに対応いただいた
・館長が顔を出していたときほっとした
・とても分かりやすかった
・いつも質問しやすい雰囲気ありがとうございました
・なんでも相談にのっていただきありがとうございました

2)施設や設備の利用のしやすさはいかがですか?

平均 5.0 点

①とても良い(5点) _____ 5 人 ②良い(4点) _____ 0 人 ③ふつう(3点) _____ 0 人
④あまりよくない(2点) _____ 0 人 ⑤悪い(1点) _____ 0 人 ⑥無記(0点) _____ 0 人

理由
・特に不自由なこともなかった
・きれいで使いやすい

4)その他、劇場へのご要望・ご意見がございましたらお書きください。

自主事業参加者アンケート集計用紙（札幌市こども人形劇場こぐま座）

○実施期間 令和3年4月20日～令和4年3月25日

<指人形ボランティア>

○アンケート回収枚数 6 枚

○アンケート回答者について

- | | | | | | | |
|-----------------------|---------|------------|-------|------------|-----------|------------|
| 1) 性別 | ①女性 | <u>6</u> 人 | ②男性 | <u>0</u> 人 | ③無記入 | <u>0</u> 人 |
| 2) 事業の周知方法 | ①広報さっぽろ | <u>0</u> 人 | ②劇場通信 | <u>2</u> 人 | ③劇場HP | <u>0</u> 人 |
| | ⑤友人・知人 | <u>1</u> 人 | ⑥はがき等 | <u>0</u> 人 | ⑦チラシ・ポスター | <u>0</u> 人 |
| | | | | | ⑧その他 | <u>3</u> 人 |
| 3) こぐま座・やまびこ座での事業参加回数 | ①はじめて | <u>0</u> 人 | ②2～5回 | <u>0</u> 人 | ③6回以上 | <u>6</u> 人 |

○プログラムについて

1) 今回の事業のプログラムの内容はいかがでしたか？

平均 4.7 点

- | | | | | | |
|--------------|------------|---------|------------|----------|------------|
| ①とても良い(5点) | <u>4</u> 人 | ②良い(4点) | <u>2</u> 人 | ③ふつう(3点) | <u>0</u> 人 |
| ④あまりよくない(2点) | <u>0</u> 人 | ⑤悪い(1点) | <u>0</u> 人 | ⑥無記入(0点) | <u>0</u> 人 |

理由

2) 事業を担当した講師はいかがでしたか？

平均 4.7 点

- | | | | | | |
|--------------|------------|---------|------------|----------|------------|
| ①とても良い(5点) | <u>4</u> 人 | ②良い(4点) | <u>2</u> 人 | ③ふつう(3点) | <u>0</u> 人 |
| ④あまりよくない(2点) | <u>0</u> 人 | ⑤悪い(1点) | <u>0</u> 人 | ⑥無記入(0点) | <u>0</u> 人 |

理由

3) 今後、どのような講座に参加してみたいですか？

4) 受講料(参加料)について

- | | | | | | |
|-----|------------|---------|------------|------|------------|
| ①高い | <u>0</u> 人 | ②ちょうどよい | <u>0</u> 人 | ③無記入 | <u>0</u> 人 |
|-----|------------|---------|------------|------|------------|

○施設サービスについて

1) 職員の対応や説明はいかがでしたか？

平均 4.7 点

- | | | | | | |
|--------------|------------|---------|------------|----------|------------|
| ①とても良い(5点) | <u>4</u> 人 | ②良い(4点) | <u>2</u> 人 | ③ふつう(3点) | <u>0</u> 人 |
| ④あまりよくない(2点) | <u>0</u> 人 | ⑤悪い(1点) | <u>0</u> 人 | ⑥無記入(0点) | <u>0</u> 人 |

理由

2) 施設や設備の利用のしやすさはいかがですか？

平均 4.2 点

- | | | | | | |
|--------------|------------|---------|------------|----------|------------|
| ①とても良い(5点) | <u>2</u> 人 | ②良い(4点) | <u>3</u> 人 | ③ふつう(3点) | <u>1</u> 人 |
| ④あまりよくない(2点) | <u>0</u> 人 | ⑤悪い(1点) | <u>0</u> 人 | ⑥無記入(0点) | <u>0</u> 人 |

4) その他、劇場へのご要望・ご意見がございましたらお書きください。